

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(I)	道路・河川・公共交通の整備	土木建築部都市整備課
	主要施策	①	地域高規格道路「中津日田道路」の整備	土木建築部長 大友得央

目指すべき姿	現在事業中の3区間（①三光本耶馬溪道路、②耶馬溪山国道路、③日田山国道路）の早期開通を促進する
--------	---

主要施策に対する 主な取組	地域高規格道路「中津日田道路」の整備促進に向けた要望活動の強化
------------------	---------------------------------

測定指標	指標 の 出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
整備促進に向けた要望回数（回）	担当課調べ	4	R4	4	4				達成

目標達成度合いの測定結果	
目標達成	全ての測定指標で目標が達成されたもの
(判定理由)	
「地域高規格道路中津日田道路」の整備促進について、国や県に対する要望活動が目標回数に達したため「目標達成」と判定した。	

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)
【令和6年度に実施した具体的施策・取組】 (各種期成会等による要望活動) ・R6.8.19_大分県要望（知事・土木建築部） ・R6.10.30_日田土木事務所要望 ・R6.11.13～11.14_中央要望（国土交通大臣・財務大臣・県選出国会議員） ・R7.1.24～1.25_国土交通省要望（女性の会）
【測定指標の分析】又は【自己評価】 地域高規格道路「中津日田道路」の整備促進については、令和5年度に「田口IC～青の洞門・羅漢寺IC」までの5.3kmが完成したことにより、全体延長約55kmのうち、約5割にあたる約28.1km区間が既に供用され、残る区間も随時整備を行っている。また、日田市管内の日田山国道路においても、藤山工区で整備が進められている5号トンネルが令和6年度に完成し、現在1号トンネルの避難坑及び本坑の工事にも着手していることから、これまで継続的に実施してきた要望活動の成果が表れている。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性
三光本耶馬溪道路の田口ICから青の洞門・羅漢寺ICまでの開通や、日田山国道路の2つのトンネル工事に着手するなど、必要な予算確保ができたことにより進捗が図られている。 今後も、事業主体である国や県に対して早期完成へ向け事業促進を図るよう継続的に要望していく。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
1	中津日田間地域高規格道路促進期成会負担金	期成会として、以下の活動を行い事業促進・予算確保へ向けた要望活動を行った。 ・R6. 8. 2 総会開催 ・R6. 8. 19 大分県要望（知事・土木建築部） ・R6. 11. 13～14 中央要望（国土交通大臣、財務大臣、県選出国会議員）	R4決算 150	必要性
	中津日田両地域の産業経済、観光文化の振興・発展の軸となる道路整備の早期完成へ向けた要望活動を行う期成会組織への負担金		R5決算 150	効率性
			R6決算 75	有効性
			R7予算 150	
	事業開始年度	H17		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
			都市整備課長 大東良助	
			土木建築部都市整備課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
2	日田市の明日の道を想う女性の会活動負担金	以下の活動を行い事業促進へ向けた要望活動等を行った。 ・R6. 6. 27 定例総会開催 ・R6. 8. 19 大分県要望（知事・土木建築部） ・R6. 10. 22 工事現場視察（中津日田道路及び国道212号日田拡幅） ・R6. 10. 30 日田土木事務所長要望（管内国県道整備促進期成会連合会） ・R6. 11. 13～14 中央要望（国土交通大臣、財務大臣、県選出国会議員ほか） ・R7. 1. 24～25 国土交通省要望及び全国みちづくり女性団体交流会議2023 ・R7. 2. 15 「中九州横断道路」早期完成を願う女性の会臨時総会	R4決算 240	必要性
	道路を通して日田地域の発展・活性化を目指すため、幹線道路整備の促進へ向けた要望等を行う組織への負担金		R5決算 440	効率性
			R6決算 419	有効性
			R7予算 440	
	事業開始年度	H29		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
現状維持			都市整備課長 大東良助	
			土木建築部都市整備課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
3	都市計画総務費	中津日田間地域高規格道路促進期成会にかかる旅費等 ・期成会を構成する関係市町村と連携し、幹線道路等の早期完成へ向けた要望活動が実施できた。	R4決算 1,586	必要性
	課の政策的経費・公用車管理・各種協議会負担金		R5決算 1,664	効率性
			R6決算 1,870	有効性
			R7予算 2,645	
	事業開始年度	H17		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
			都市整備課長 大東良助	
			土木建築部都市整備課	
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価
4				必要性
				効率性
				有効性
	事業開始年度			
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価
5				必要性
				効率性
				有効性
	事業開始年度			
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(1)	道路・河川・公共交通の整備	土木建築部都市整備課
	主要施策	②	幹線道路網の整備	土木建築部長 大友得央

目指すべき姿	国・県道の整備を促進し、都市間交流の促進や地域間の連携を図る
--------	--------------------------------

主要施策に対する 主な取組	幹線道路としての国・県道の整備促進に向けた要望活動の強化 災害等に対応する「国道212号」のダブルネットワーク化への取組
------------------	---

測定指標	指標 の 出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
整備促進に向けた要望回数（回）	担当課調べ	1	R4	1	1				達成
幹線道路網の改良率（％）	第6次日田市 総合計画	61.8	R4	61.7	61.5				未達成

目標達成度合いの測定結果	
相当程度進展あり	一部又は全部の測定指標で目標が達成されなかったが、主要な測定指標はおおむね目標に近い実績を示すなど、 現行の取組を継続した場合、相当な期間を要せずに目標達成が可能であると考えられるもの
(判定理由)	
幹線道路としての国・県道の整備促進に向けた要望活動は目標を達成したが、幹線道路網の改良率が未達成だったため「相当程度進展あり」と判定した。	

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)	
【令和6年度に実施した具体的施策・取組】	
- 各期成会による国や県への要望活動に対する支援 - 県施行の道路整備に対する事業費の一部負担	
【測定指標の分析】又は【自己評価】	
「日田市の明日の道を想う女性の会」が各期成会と連携し、幹線道路の整備などについて、国や県に対し積極的な要望活動を行っている。 - これまでの要望活動の成果により、道路事業の予算確保や事業促進が図られ、さらに市が事業費の一部を負担することで幹線道路の改良率が向上しているが、R6年度については国道212号の響峠バイパスが開通したことにより、旧道移管等の手続きにより日田市管内の幹線道路網の改良率が低下した。	

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性	
- 幹線道路の改良率が向上することで、地域間ネットワークが形成され、沿線地域の活性化等につながることから、今後も国や県に対し整備促進に向けた要望活動を積極的に実施していくとともに、県事業費の一部を負担することで、引き続き整備促進を図っていく。 - 地域高規格道路「中津日田道路」の日田管内では5号トンネルの完成や国道210号川下改良のトンネル工事に着手するなど、着実な進捗が図られている一方、地形が急峻な区間は災害等に対し依然として脆弱な道路状況にあるため、今後も引き続き道路の機能強化・整備促進へ向け県へ働きかけていく。	

■この施策を実現するための事業構成

1	事業名・事業内容		令和6年度活動実績		決算・予算		評価	
	期成会等負担金		・ 国道211号 R6. 5.28_ 総会、R6. 7. 5_ 国土交通省九州地方整備局及び福岡県要望、 R6.11. 7 中央要望 ・ 国道212号 R6. 8. 6 _総会、R6. 8.19_ 大分県要望 ・ 国道442号 R6. 8.19_ 総会、R7. 2.21_ 大分県要望 ・ 九州国道協会 R6. 5.20 _総会、R6.11. 8 _国土交通省要望		R4決算		必要性	
	期成会の活動を通じ道路整備の促進を図る (一般国道211号、212号、442号、九州国道協会、大分県土木建築協会) ※中津日田、三隈川を除く				469			
					R5決算		効率性	
					599			
					R6決算		有効性	
	609							
R7予算		609						
事業開始年度		H17						
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
					都市整備課長 大東良助			
					土木建築部都市整備課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績		決算・予算		評価	
2	日田市の明日の道を想う女性の会活動負担金		以下の活動を行い事業促進へ向けた要望活動等を行った。 ・ R6. 6.27 定例総会開催 ・ R6. 8.19 大分県要望（知事・土木建築部） 工事現場視察（中津日田道路及び国道212号日田拡幅） ・ R6.10.22 日田土木事務所長要望（管内国県道整備促進期成会連合会） ・ R6.10.30 日田土木事務所長要望（管内国県道整備促進期成会連合会） ・ R6.11.13～14 中央要望（国土交通大臣、財務大臣、県選出国会議員ほか） ・ R7. 1.24～25 国土交通省要望及び全国みちづくり女性団体交流会議2023 ・ R7. 2.15 「中九州横断道路」早期完成を願う女性の会臨時総会		R4決算		必要性	A
	240							
	道路を通して日田地域の発展・活性化を目指すため、幹線道路整備の促進へ向けた要望等を行う組織への負担金				R5決算		効率性	A
					440			
					R6決算		有効性	A
			419					
	事業開始年度		H29	R7予算		440		
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
現状維持		引き続き、機会を捉え積極的に要望活動に参加し地域の実情や地元の声を届けていく。			都市整備課長 大東良助			
					土木建築部都市整備課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績		決算・予算		評価	
3	県施行土木工事費負担金（道路）		・ 国・県道11路線の測量試験費、工事費、用地補償費に対する事業負担を行った。 負担割合：県単独事業費の3/20		R4決算		必要性	
	59,517							
	大分県が施行する国・県道改築事業費の一部負担金				R5決算		効率性	
					62,143			
					R6決算		有効性	
			75,272					
	事業開始年度		H17	R7予算		83,152		
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
					都市整備課長 大東良助			
					土木建築部都市整備課			
No.	事業名・事業内容		活動実績		決算・予算		評価	
4							必要性	
							効率性	
							有効性	
	事業開始年度							
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
No.	事業名・事業内容		活動実績		決算・予算		評価	
5							必要性	
							効率性	
							有効性	
	事業開始年度							
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(1)	道路・河川・公共交通の整備	土木建築部都市整備課
	主要施策	③	都市計画道路の整備	土木建築部長 大友得央

目指すべき姿	・市街地の円滑な交通の確保と豊かな公共空間を備えた良好な市街地形成を図るための整備を推進する。
--------	---

主要施策に対する 主な取組	事業区間の整備促進と次期着手区間の検討
------------------	---------------------

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
都市計画道路の整備率（％）	担当課調べ	61.3	R4	61.2	61.9				達成

目標達成度合いの測定結果	
目標達成	全ての測定指標で目標が達成されたもの
(判定理由)	
整備率が目標値に達したため「目標達成」と判定した。	

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)
【令和6年度に実施した具体的施策・取組】
・県施行の上野三和線（国道212号）、銭漕大宮線（県道小畑日田線）の用地協議や一部工事を実施した。 ・市施行の友田徳瀬線、三郎丸西有田線の用地協議や一部工事を実施した。
【測定指標の分析】又は【自己評価】
・県施行の国道212号（三和工区）で4車線化を実施しており、日ノ出第二交差点から医療センター入り口交差点（済生会日田病院前）までの約1,200mの改良工事が完了し、銭漕大宮線（高瀬工区）では県事業の一部を市も負担し実施しており、用地取得の完了した箇所では工事を実施し、整備率が向上した。 ・市施行の友田徳瀬線（新治工区）と三郎丸西有田線（丸山工区）では用地協議や工事を実施し、整備率が向上した。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性
県施行の国道212号（三和工区）の4車線化事業では、残る約1,700mの工事を行い、銭漕大宮線（高瀬工区）では用地取得が完了した区間において工事を実施して整備促進を図る。 また、市施行の友田徳瀬線においては用地取得が完了し引き続き工事を実施する。 今後も、市街地における交通渋滞の緩和や歩道整備による安全な通学路の確保を目指し引き続き整備を行うとともに、県事業においては、費用の一部を負担することで整備率の向上を図る。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
1	都市計画総務費	中津日田間地域高規格道路促進期会にかかる旅費等	R4決算	必要性
	課の政策的経費・公用車管理・各種協議会負担金	・期成会を構成する関係市町村と連携し、幹線道路等の早期完成へ向けた要望活動が実施できた。	1,586	効率性
			R5決算	
			1,664	
			R6決算	
			1,870	
	事業開始年度	H17	R7予算	有効性
		2,645		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
			都市整備課長 大東良助	
			土木建築部都市整備課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
2	三郎丸西有田線改築事業	・用地協議（取得率86％）	R4決算	必要性
	交通渋滞の緩和や通勤・通学時の安全性の向上を図るため、国が行う河川整備と一体的に整備するもの		366,791	効率性
			R5決算	
			212,607	
			R6決算	
			82,370	
	事業開始年度	H30	R7予算	有効性
		157,658		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	現状維持	今後も国が実施している河川事業と連携し事業促進を図っていく。	都市整備課長 大東良助	
			土木建築部都市整備課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
3	友田徳瀬線改築事業	・工事費、用地補償費など	R4決算	必要性
	通勤・通学時の通行の安全確保や円滑化を図るため整備を実施するもの		15,111	効率性
			R5決算	
			33,918	
			R6決算	
			69,825	
	事業開始年度	H29	R7予算	有効性
		89,067		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
			都市整備課長 大東良助	
			土木建築部都市整備課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
4	県施行土木工事費負担金(街路)	対象路線：都市計画道路銭刈大宮線(県道小畑日田線) 負担割合：1/10	R4決算	必要性
	大分県が施行する都市計画道路改築事業の一部を負担するもの		24,152	効率性
			R5決算	
			33,640	
			R6決算	
			27,226	
	事業開始年度	—	R7予算	有効性
			53,500	
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	現状維持	街路利用者の安全性の向上を図るため、県及び市が実施する都市計画街路を計画的に推進していく。	都市整備課長 大東 良助	
			土木建築部都市整備課	
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価
5				必要性
				効率性
				有効性
	事業開始年度			
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(1)	道路・河川・公共交通の整備	土木建築部土木課
	主要施策	④	生活関連道路の整備	土木建築部長 大友 得央

目指すべき姿	効率的かつ、効果的な生活道路の整備
--------	-------------------

主要施策に対する 主な取組	地域の状況を考慮した効率的な道路整備 橋梁やトンネル等の定期的な点検に基づいた適切な維持管理
------------------	---

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
市道の改良率（％）	担当課調べ	73.7	R5	73.7	73.7				達成
橋梁定期点検数（橋）	担当課調べ	135	R5	135	142				達成

目標達成度合いの測定結果	
目標達成	全ての測定指標で目標が達成されたもの
（判定理由） 市道の改良率・橋梁点検ともに目標値に達しているため「目標達成」と判定した。	

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)
【令和6年度に実施した具体的施策・取組】 主な実施事業 ・道路改良延長・・・999m ・橋梁定期点検・・・142橋 ・トンネル点検・・・2箇所
【測定指標の分析】又は【自己評価】 市道は、1,337路線、延長1,182kmあり、道路の維持管理及び改良等の整備に多額の費用が必要となることから、国の補助金や交付金、地財措置等を講じながら事業を実施することで、道路の改良率は向上している。 道路ストックの分野においても目標値に達しており、今後も国が定める基準の5年毎の定期点検を実施することで、橋梁、トンネルや舗装を適切に維持管理を図っている。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性
道路整備は、緊急車両の通行に支障をきたしている路線や災害時の避難路となる路線の整備を図るとともに、老朽化した舗装の補修及び改修や側溝整備、交通安全施設の設置を実施することにより、市民の生活道路である市道の安全、安心な交通を確保する。 橋梁、トンネル、舗装等の道路ストック事業については、点検結果により策定した長寿命化修繕計画等に基づき施設の長寿命化を図ること、維持管理費用の平準化及び削減に努める。 道路改良や災害防除においては、地元要望等を踏まえながら効率的に生活道路整備を推進していく。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価	
1	土木総務費（経常費分）		・旅費、公用車管理経費、土木積算システム単価改定作業委託料及びデータ利用料、プログラム保守点検委託料、コピー機借り上げ・保守料金	R4決算	必要性		
	旅費・公用車管理経費及び積算システム委託費等の事務経費			1,154			
				R5決算	効率性		
				3,892			
				R6決算			8,724
				R7予算	4,172	有効性	
事業開始年度		H17					
事業の方向性		今後の取組や改善事項		評価者・担当課			
				土木課長 高倉 実			
				土木建築部土木課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価	
2	道路橋梁総務費（経常費分）		・旅費、事務費、公用車管理、街路灯・トンネル等電灯料、協会負担金など	R4決算	必要性		
	旅費・会議・分担金等の事務経費			20,885			
				R5決算	効率性		
				19,402			
				R6決算			20,470
				R7予算	21,449	有効性	
事業開始年度		H17					
事業の方向性		今後の取組や改善事項		評価者・担当課			
				土木課長 高倉 実			
				土木建築部土木課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価	
3	道路維持費（経常費分）		・市道の維持管理、道路補修用資材の購入、登記手数料など	R4決算	必要性		
	道路維持管理に伴う、資材、手数料、修繕費等の事務経費			51,725			
				R5決算	効率性		
				58,554			
				R6決算			63,082
				R7予算	64,375	有効性	
事業開始年度		H17					
事業の方向性		今後の取組や改善事項		評価者・担当課			
				土木課長 高倉 実			
				土木建築部土木課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価	
4	街路樹管理事業（経常費分）		樹木剪定委託料 1式 ・樹木の剪定、伐採、枯損等による植替え	R4決算	必要性		
	街路樹を適正に管理することにより道路の気温上昇の抑制や防音防火等の環境面から安らぎの環境づくりを図るもの			6,425			
				R5決算	効率性		
				6,426			
				R6決算			6,399
				R7予算	6,795	有効性	
事業開始年度		H17					
事業の方向性		今後の取組や改善事項		評価者・担当課			
				土木課長 高倉 実			
				土木建築部土木課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価	
5	道路補修事業		令和6年度事業 ・道路維持補修工事 1式（側溝や路肩等の補修） ・舗装補修業務委託 1式（アスファルト舗装の補修）	R4決算	必要性	A	
	市道の舗装のひび割れや陥没、側溝の詰まり、路肩の崩壊等を補修し、車両等の通行の安全を確保するもの			159,952			
				R5決算	効率性	A	
				143,411			
				R6決算			148,052
				R7予算	130,000	有効性	A
事業開始年度		H17					
事業の方向性		今後の取組や改善事項		評価者・担当課			
現状維持		日常のパトロールにより必要な補修を行うとともに、多く寄せられる地域の要望についても、優先順位を設け計画的な補修等に努める。		土木課長 高倉 実			
				土木建築部土木課			

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
6	道路ストック補修事業（橋梁・トンネル） （橋梁・トンネル） 重要構造物である橋梁やトンネルについて、法令点検により策定した長寿命化計画に基づき、計画的に補修工事を行うもの	令和5年度線越事業（橋梁） ・橋梁工事設計 2箇所（清和橋、坂本橋） ・橋梁工事 4箇所（下切橋、釣橋、水目跨道橋、銭測橋） 令和6年度事業（橋梁） ・橋梁点検 142箇所 ・橋梁工事設計 6箇所（城元橋、広瀬橋、高取橋、東釣橋、田中測橋、中央大橋） ・橋梁工事 1箇所（小谷口跨線橋） 令和6年度事業（トンネル） ・トンネル点検 2箇所（求来里トンネル、牧原トンネル） ・トンネル工事設計 1箇所（大石峠トンネル） ・トンネル工事 1箇所（桜竹トンネル） 令和7年度 線越額 76,101,947円	R4決算	必要性	A
			167,086		
			R5決算	効率性	A
			178,173		
			R6決算	有効性	A
			334,228		
	事業開始年度	H26	R7予算		
			232,172		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課	
	現状維持	法令点検により策定した長寿命化計画に基づき計画的に補修を行う。		土木課長 高倉 実	
				土木建築部土木課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
7	道路ストック補修事業（舗装・法面・照明） （舗装・法面・照明） 道路の舗装、法面及び照明について、日常の点検等により補修が必要な箇所に優先順位を設け、計画的に補修工事を行うもの	令和6年度実績（舗装） ・亀石女子畑1号線 ・銭測石井線 ・日ノ出線 令和7年度 線越額 11,372,000円	R4決算	必要性	A
			66,250		
			R5決算	効率性	A
			29,835		
			R6決算	有効性	A
			46,616		
	事業開始年度	H26	R7予算		
			64,622		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課	
	現状維持	舗装や照明の補修は、日常の点検等に基づき計画的に行う。法面は、以前の点検により補修が必要とした箇所を計画的に補修する。		土木課長 高倉 実	
				土木建築部土木課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
8	橋梁改良事業 H29九州北部豪雨で甚大な被害を受けた小野川外3河川において大分県施行の河川改修事業にあわせ被災の一因となった橋梁の架替事業に対し、応分の負担を行うもの	令和6年度実績 ・方司口橋 事業延長L=40m、総事業費C=20,581千円（架替工事、測量設計） 令和5年度 測量設計一式	R4決算	必要性	A
			56,698		
			R5決算	効率性	A
			5,753		
			R6決算	有効性	A
			36,903		
	事業開始年度	H30	R7予算		
			110,000		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課	
	現状維持	大分県の橋梁架替工事に合わせて、引き続き必要な事業経費を負担し事業を推進する。		土木課長 高倉 実	
				土木建築部土木課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
9	社会資本整備総合交付金事業（市道中間小五馬柚木線改良事業） 拡幅整備することにより、地域の振興及び交通の安全を図るもの	全体事業延長 L=290m・W=5.0m （総事業費 105,500千円） ・年度別実績等 令和5年度：改良工事・測量設計・用地費・手数料 令和6年度：L=36.0m 改良工事 令和7年度 線越額 31,560,492円	R4決算	必要性	A
			R5決算	効率性	A
			29,600		
			R6決算	有効性	A
			15,260		
	事業開始年度	R4	R7予算		
			59,411		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課	
	現状維持	事業区間の完成を目指し、事業促進に努める。		土木課長 高倉 実	
				土木建築部土木課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
10	社会資本整備総合交付金事業（市道三ノ宮尾当線改良事業） 拡幅整備することにより、地域の振興及び交通の安全を図るもの	全体事業延長 L=200m・W=5.0m （総事業費 78,000千円） ・年度別実績等 令和5年度：改良工事・用地費・補償費・手数料 令和6年度：L=200m 改良工事・補償費 令和7年度 線越額 27,061,508円	R4決算	必要性	A
			R5決算	効率性	A
			10,185		
			R6決算	有効性	A
			45,882		
	事業開始年度	R5	R7予算		
			27,062		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課	
	現状維持	事業区間の完成を目指し、事業促進に努める。		土木課長 高倉 実	
				土木建築部土木課	

No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価	
11	地域生活道路整備事業		幅員が狭小など緊急車両の通行や離合が困難な区間の拡幅改良、老朽化した舗装の復旧、側溝の整備等を行う。 令和6年度事業 ・改良工事、舗装工事、側溝整備工事ほか 計12件 ・測量設計、用地費、補償費、手数料ほか ・令和7年度 繰越額 54,253,355円	R4決算	必要性	A	
	住民生活に密着した比較的小規模な道路改良で、車両の離合が困難な区間の拡幅改良や側溝整備などを行うための工事			144,670			
				R5決算	効率性	A	
				126,658			
				R6決算	有効性	A	
				201,528			
事業開始年度		H17	R7予算	253,927			
事業の方向性		今後の取組や改善事項		評価者・担当課			
現状維持		今後の事業箇所について、優先順位の高いものから順次実施する。		土木課長 高倉 実			
				土木建築部土木課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価	
12	橋梁維持費（経常費分）		・橋梁補修工事 2件	R4決算	必要性		
	市道橋梁の維持管理、修繕補修を行うことで通行の安全確保を図るもの			498			
				R5決算	効率性		
				499			
				R6決算	有効性		
				451			
事業開始年度		H17	R7予算	500			
事業の方向性		今後の取組や改善事項		評価者・担当課			
				土木課長 高倉 実			
				土木建築部土木課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価	
13	中津日田道路整備推進事業		令和5年度事業 実績なし 令和6年度事業 実績なし	R4決算	必要性	A	
	中津日田道路の全面開通に合わせ、周辺の市道の整備を行うもの			15,527			
				R5決算	効率性	A	
				R6決算	有効性	A	
				R7予算			
事業開始年度		R3					
事業の方向性		今後の取組や改善事項		評価者・担当課			
現状維持		今後も中津日田道路整備の事業主体である大分県と協議を図り、事業区間の完成を目指し、事業促進に努める。		土木課長 高倉 実			
				土木建築部土木課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価	
14	交通安全対策整備事業		令和6年度事業 ・道路標示 L＝681.2m（新設：431.4m、補修：249.8m） ・防護柵 L＝735.5m（新設：667.3m、補修：68.2m） ・道路標識 1本（新設：1本、補修：0本） ・区画線 L＝14582.8m（新設：0m、補修：14582.8m） ・カーブミラー 49基（新設：7基、補修：42基） ・視線誘導標識 13本（新設：6本、補修：7本）	R4決算	必要性	A	
	道路環境の安全性を確保するため、防護柵やカーブミラー等の設置や補修を行うもの			42,999			
				R5決算	効率性	A	
				22,699			
				R6決算	有効性	A	
				43,164			
事業開始年度		H17	R7予算	30,000			
事業の方向性		今後の取組や改善事項		評価者・担当課			
現状維持		安全性確保のため必要な対策を確実に進める。		土木課長 高倉 実			
				土木建築部土木課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価	
15	辺地対策事業（市道柚の木原線）		(辺地計画 H26～H30) ・市道荒平後河内線改良工事 (辺地計画 R3～R7) ・市道柚の木原線改良工事 全体事業延長 L＝800m・W＝5.0m (総事業費 220,000千円) 令和4年度：測量設計・用地測量他 令和5年度：改良工事 L＝155m・用地費・補償費 令和6年度：改良工事 L＝355m・用地費・補償費	R4決算	必要性	A	
	交通条件等に恵まれず、生活の利便性の低い地域を対象に行う、道路の拡幅改良工事			37,734			
				R5決算	効率性	A	
				19,801			
				R6決算	有効性	A	
				59,991			
事業開始年度		R3	R7予算	102,000			
事業の方向性		今後の取組や改善事項		評価者・担当課			
現状維持		事業区間の完成を目指し、事業促進に努める。		土木課長 高倉 実			
				土木建築部土木課			

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
16	社会資本整備総合交付金事業（市道大部牧原線改良事業） 道路改良することにより、安全な離合と沿線住民の利便性の向上を図るもの	全体事業延長 L=135m・W=5.5m (総事業費 215,000千円) ・年度別実績等 令和6年度：測量設計 L=140m	R4決算	必要性	B
			R5決算	効率性	
			R6決算	有効性	B
			2,946	有効性	
			R7予算	有効性	B
	事業開始年度	R6			
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
	廃止・完了	全線改良による大型車両の通行量増加に懸念があると沿線住民から意見があり、部分改良を行う計画となったことから、社会資本整備総合交付金事業から地域生活道路整備事業へ変更する。	土木課長 高倉 実		
			土木建築部土木課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
17	社会資本整備総合交付金事業（市道北豆田三郎丸線改良事業） 光岡地区の北側を東西に横断する幹線道路に右折レーンを設置するなど交差点部分の改良を行い、交通渋滞の解消や交通安全を図るもの	全体事業延長 L=250m・W=12.0～15.0m (総事業費 310,000千円) ・年度別実績等 平成28年度：測量設計 平成29～令和5年度：改良工事・用地費・補償費 令和5年度：用地費 令和6年度：旅費・需用費・用地費 令和7年度 繰越額 278,960円	R4決算	必要性	A
			25,652	効率性	
			R5決算	有効性	A
			R6決算	有効性	
			419	有効性	A
	事業開始年度	H28	R7予算		
		952			
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
	現状維持	事業区間の完成を目指し、事業促進に努める。	土木課長 高倉 実		
			土木建築部土木課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
18	社会資本整備総合交付金事業（市道本城線改良事業） 拡幅改良を行うことにより、通行の安全を図るもの	全体事業延長 L=920m・W=6.25m (総事業費 526,000千円) ・年度別実績等 平成26～31年度：測量設計・用地費・補償費・改良工事他 令和2～4年度：用地費・補償費・改良工事他 令和5年度：改良工事・用地費 令和6年度：L=56m 改良工事 令和7年度 繰越額 30,348,502円	R4決算	必要性	A
			41,582	効率性	
			R5決算	有効性	A
			64,885	有効性	
			R6決算	有効性	A
	事業開始年度	H26	R7予算		
			92,549		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
	現状維持	事業区間の完成を目指し、事業促進に努める。	土木課長 高倉 実		
			土木建築部土木課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
19				必要性	
				効率性	
				有効性	
				有効性	
				有効性	
	事業開始年度				
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
20				必要性	
				効率性	
				有効性	
				有効性	
				有効性	
	事業開始年度				
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(1)	道路・河川・公共交通の整備	地域振興部地域振興課
	主要施策	⑤	公共交通の維持と確保	地域振興部長 宮木哲也

目指すべき姿	効率的・効果的な公共交通網の構築
--------	------------------

主要施策に対する 主な取組	地域の実情や観光ニーズに即した交通手段の確保と利用しやすい公共交通の構築 交通事業者に対する市内から都市部への所要時間短縮等の働きかけ 関係機関等との連携による高齢者の外出機会を創出するための効果的な移動支援サービスの構築
------------------	--

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
市内公共交通年間利用者数（人）	日田市地域公共交通計画	158,000	R5	158,157	166,817				達成
日田から福岡都市圏を公共交通（JRを除く）で通勤・通学する者（人）	担当課調べ	50	R5	44	40				未達成

目標達成度合いの測定結果	
相当程度進展あり	一部又は全部の測定指標で目標が達成されなかったが、主要な測定指標はおおむね目標に近い実績を示すなど、現行の取組を継続した場合、相当な期間を要せずに目標達成が可能であると考えられるもの
（判定理由） 市内公共交通年間利用者数は、増加傾向にあり目標値を上回っているため「相当程度進展あり」と判断したもの。	

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)
【令和6年度に実施した具体的施策・取組】 ・公共交通の隙間を埋める補完的な移動手段である、住民主体の支えあいによる移動サービスの創出のため、関係機関と連携して制度や先進事例を紹介する講演会の開催等に取り組んだ。 ・JR日田彦山線BRTについて、開業1周年イベントの実施や1日フリーチケットの造成など沿線自治体と連携した取組や、集落支援員によるBRT体験ツアーの実施によりBRTの利用を促進した。 ・大山地区内の移動の利便性向上を図るための乗合デマンドタクシー実証実験について、期間を延長し継続して実施した。 ・交通事業者との情報交換や協議の際には、通勤・通学時間帯の公共交通機関の利便性向上について働きかけを行った。 【測定指標の分析】又は【自己評価】 ・市内公共交通年間利用者数は、令和5年2月に市内循環バスひたはしり号の大規模なダイヤ改正を行い効率的な運行と利用者の利便性向上を図った。利用者の減少が続くモードがあるものの、全体としては令和3年度までの減少傾向から令和4年度以降は増加傾向へ転じて推移している。しかしながら、人件費や燃料費等の物価高騰の影響もあり事業にかかる経費についても年々増加してきている。 ・日田から福岡都市圏を公共交通（JRを除く）で通勤・通学する者の数については、微減となっている。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性
令和5年3月に策定した「日田市地域公共交通計画」に基づき、「私たちの暮らしを守る持続可能な地域公共交通づくり」を基本理念に、日田市の公共交通に関する課題解決に向け、アクションプランである「日田市地域公共交通利便増進実施計画」を令和7年度中に策定し、さらなる高齢化社会の進展に備えた持続可能な効率的で効果的な公共交通ネットワークの構築に取り組むとともに、引き続き、交通事業者に対し、通勤・通学の利便性向上に向けた働きかけを行う。 また、公共交通の隙間を埋める補完的な移動サービスとして、公共交通、福祉、また民間が垣根を越えて柔軟に連携する仕組みづくりに取り組む。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
1	地方バス路線維持対策事業 移動制約者の交通手段を確保するため、民間バス会社の赤字路線（12路線）に対し、路線維持のための補助金を交付するもの	・事業費 補助額：60,428,000円 ・補助額内訳及び輸送人員 日田バス 8路線：55,299,000円 39,027人 西鉄バス久留米 2路線：1,306,000円 4,775人 大交北部バス 2路線：3,823,000円 16,574人 ※輸送人員はR5.10～R6.9の実績	R4決算	必要性 A
			51,098	
			R5決算	効率性 B
			53,439	
			R6決算	有効性 B
			60,428	
	事業開始年度	H17	R7予算	63,481
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	見直し	住民の生活に必要な路線の維持のため引き続き補助を行っていくが、利用状況等を注視しながら、他の公共交通への切り替えも含め検討していく。また、路線の運行については、赤字額の削減に向けて時刻や便の変更など必要な見直しを求めていく。	地域振興課長 江田智美	
			地域振興部地域振興課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
2	上・中津江デマンドバス運行事業 民間路線等が運行していない上・中津江地区及び大山地区の一部で、事前予約制のデマンドバスを運行するもの。	・事業費 31,514,842円 ・輸送人員 11,016人 ※輸送人員はR5.10～R6.9の実績	R4決算	必要性 A
			35,186	
			R5決算	効率性 C
			31,400	
			R6決算	有効性 B
			31,515	
	事業開始年度	H22	R7予算	31,926
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	見直し	地域の高齢化や利用者も減少している。利用者1人当たりのコストが他の事業に比べて大きいことから、利用状況を分析し、運行台数や時刻、料金等必要な見直しを行っていく。	地域振興課長 江田智美	
			地域振興部地域振興課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
3	コミュニティバス運行事業 市内中心部において、循環バスひたはしり号を低料金で運行し、高齢者や障がい者等の通院・買い物時、高校生の通学時の交通手段を確保するもの。	○委託料 ひたはしり号運行委託料：51,507,225円 音声データ作成委託料：347,549円 ○その他経費 消耗品費：86,305円 印刷製本費：99,000円 玖珠町コミュニティバス山浦線運行費負担金：118,265円 ○輸送人員 ひたはしり号：87,855人 ※輸送人員はR5.10～R6.9の実績	R4決算	必要性 A
			58,633	
			R5決算	効率性 B
			51,782	
			R6決算	有効性 A
			52,159	
	事業開始年度	H22	R7予算	54,680
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	見直し	令和5年2月に運行ルートの再編を行い利用者の増加に繋がっている。引き続き利用者のニーズに沿った見直しを行っていくことで更なる利用者増に繋げる。	地域振興課長 江田智美	
			地域振興部地域振興課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
4	乗合タクシー運行事業 交通空白地域に居住する住民の通院や買い物等の際の移動手段を確保するため、事前予約制による乗合タクシーを自宅近くから最寄りの駅やバス停までの間において運行するもの。	○運行委託料 乗合デマンド：10,844,950円 おでかけ支援：223,850円 ○大鶴駅構内使用料 19,800円 ○輸送人員 乗合デマンド：5,286人 おでかけ支援：145人 ※輸送人員はR5.10～R6.9の実績 <経過> 令和2年度 7路線追加（君迫北友田線、座目木大山線、星払高瀬線、有田市役所線、三春原線、夜明閑町線、高井町線） 令和5年度 1路線追加（大山線）	R4決算	必要性 A
			10,766	
			R5決算	効率性 A
			10,970	
			R6決算	有効性 B
			11,089	
	事業開始年度	H24	R7予算	14,663
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	拡充	タクシー協会と協議をしながら運行の維持に努めるとともに、他の交通の見直しに合わせ、代替交通としての路線の拡充を検討する。	地域振興課長 江田智美	
			地域振興部地域振興課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
5	福祉バス運行事業 スクールバスの空き時間を利用し、交通空白地域における高齢者及び障がい者等交通弱者の利便を図るもの。	事業費 11,774,906円 ・輸送人員 2,139人 6路線（大鶴線、堂尾線、串川線、月出山線、高花線、尾当線） ※輸送人員はR5.10～R6.9の実績	R4決算	必要性 A
			11,706	
			R5決算	効率性 C
			11,784	
			R6決算	有効性 B
			11,775	
	事業開始年度	S59	R7予算	12,450
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	見直し	利用者の減少により、利用者1人当たりのコストが他の事業に比べて大きくなっていることから、利用状況を分析し、路線廃止及び代替交通の検討等見直しを行う。	地域振興課長 江田智美	
			地域振興部地域振興課	

No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価	
6	公共交通対策事業 地域公共交通確保維持協議会に係る経費、夜明駅・大鶴駅等の駅舎等に係る経費、日田彦山線活性化推進沿線自治体連絡会への負担金。		〇地域公共交通確保維持協議会に係る経費 107,778円 (協議会への負担金) 〇夜明駅・大鶴駅・豊後中川駅・杉河内駅の駅舎等に係る経費 1,746,964円 (消耗品費、光熱水費、修繕料、清掃業務委託料、農集排使用料) 〇日田彦山線活性化推進沿線自治体連絡会負担金 273,000円	R4決算	2,215	必要性	
				R5決算	2,080		
				R6決算	2,128	効率性	
				R7予算	2,136		
				事業開始年度	H17		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項			評価者・担当課		
				地域振興課長 江田智美			
				地域振興部地域振興課			
7						必要性	
						効率性	
						有効性	
事業開始年度							
事業の方向性	今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
8						必要性	
						効率性	
						有効性	
事業開始年度							
事業の方向性	今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
9						必要性	
						効率性	
						有効性	
事業開始年度							
事業の方向性	今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
10						必要性	
						効率性	
						有効性	
事業開始年度							
事業の方向性	今後の取組や改善事項			評価者・担当課			

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(1)	道路・河川・公共交通の整備	土木建築部土木課
	主要施策	⑥	安全・安心で自然環境を活かした河川整備	土木建築部長 大友 得央

目指すべき姿	自然環境に配慮し、自然災害による被害をできるだけ小さくするための河川整備
--------	--------------------------------------

主要施策に対する 主な取組	防災・減災及び自然環境に配慮した河川整備の実施
------------------	-------------------------

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
里道水路維持管理事業実施箇所数※直接施工（箇所）	担当課調べ	5	R4	5	9				達成
原材料支給（団体）	担当課調べ	16	R4	16	18				達成

目標達成度合いの測定結果

目標達成	全ての測定指標で目標が達成されたもの
------	--------------------

(判定理由)
里道水路維持管理事業（直接施工）、原材料支給ともに目標値に達したため「目標達成」と判定した。

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)

【令和6年度に実施した具体的施策・取組】

主な事業の実施
里道水路維持管理事業
直接施工の実施箇所数 9団体
原材料支給の団体数 18団体

【測定指標の分析】又は【自己評価】

里道等の維持管理事業や河川改修事業を行うことで、里道等の適切な維持管理と河川環境の向上につながっている。
--

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性

河川の維持管理については、パトロールや地元からの情報提供等により河川の状況把握に努め、必要な補修等を迅速に実施し、被害を未然に防止するなど安全な河川整備に取り組む。
里道及び水路の維持管理については、引き続き地区要望を含め必要な補修や原材料支給を行いながら、適切な維持管理に努める。

1	事業名・事業内容		令和6年度活動実績		決算・予算		評価	
	市管理河川維持管理事業		準用河川及び普通河川の維持管理に要する修繕費 ・準用河川修繕工事 1件 ・普通河川修繕工事 0件		R4決算		必要性	
	市の管理する河川の維持管理に要する修繕費				1,000			
					R5決算		効率性	
					990			
					R6決算		有効性	
			999					
事業開始年度		—		R7予算		1,000		
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
					土木課長 高倉 実			
					土木建築部土木課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績		決算・予算		評価	
2	里道水路維持管理事業		法定外公共物管理（里道水路等）の維持管理工事 令和6年度事業 ・工事件数 9件（水路、里道の補修） ・原材料支給 18団体		R4決算		必要性	A
	8,198							
	法定外公共物管理（里道水路等）の維持管理に係る原材料支給と地元関係者の対応が困難な案件を対象に、市が直接工事を行うもの				R5決算		効率性	A
					8,821			
					R6決算		有効性	A
			12,970					
			R7予算		12,791			
事業開始年度		H23						
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
現状維持		高齢化社会が進むことで、法定外公共物の維持管理が困難な地区の増加に伴い、直接施工案件の増加が見込まれる。よって引き続き本事業を継続する。			土木課長 高倉 実			
					土木建築部土木課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績		決算・予算		評価	
3	市管理河川改修事業		令和6年度事業 ・河川改修工事 1件（向原川） ・河川改修工事設計 1件（才川） 令和7年度 繰越額 11,740,000円		R4決算		必要性	A
	市が管理する河川に対し、近年多発する自然災害による増水から、住民の生命・財産を守るため、護岸の整備を行うことで、浸水被害の軽減を図るものである。				R5決算			
					1,298			
					R6決算		有効性	A
					8,160			
			R7予算		47,140			
	事業開始年度		R5					
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
現状維持		近年多発する自然災害による増水に伴い、発生する家屋等への浸水被害を軽減するため、引き続き本事業を継続する。（令和5年度より準用河川改修事業より移行）			土木課長 高倉 実			
					土木建築部土木課			
No.	事業名・事業内容		活動実績		決算・予算		評価	
4							必要性	
							効率性	
							有効性	
	事業開始年度							
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
No.	事業名・事業内容		活動実績		決算・予算		評価	
5							必要性	
							効率性	
							有効性	
	事業開始年度							
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(2)	住環境の整備と維持管理	土木建築部建築住宅課
	主要施策	①	市営住宅の整備・維持管理	土木建築部長 大友得央

目指すべき姿	市営住宅の住環境整備
--------	------------

主要施策に対する 主な取組	市営住宅の長期的な維持管理及び計画的な改修等による長寿命化の推進 多様化する課題に対応した住宅の提供と安定した居住環境の維持
------------------	---

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
住環境整備戸数（外部塗装等）（棟）	日田市公営住宅 等長寿命化計画	1	R4	1	1				達成
建替・改善戸数（棟）	日田市公営住宅 等長寿命化計画		R4	1					—

目標達成度合いの測定結果	
相当程度進展あり	一部又は全部の測定指標で目標が達成されなかったが、主要な測定指標はおおむね目標に近い実績を示すなど、 現行の取組を継続した場合、相当な期間を要せずに目標達成が可能であると考えられるもの
(判定理由)	
公営住宅等長寿命化計画に基づき、ハーモニータウン月隈D号住宅の屋根・外壁改修工事を実施した。	

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)
【令和6年度に実施した具体的施策・取組】 入居者からの要望等を踏まえながら、随時住戸の営繕に取り組んだ。建築基準法等に基づく住宅の法定点検、計量法に基づく水道隔測メーターの取替、並びに公営住宅等長寿命化計画に基づく住宅の外部塗装、エレベータの改修を行いながら、住宅の長寿命化・安全性の確保などにより良好な住環境の整備を講じた。また、高齢者の就労支援の観点からシルバー人材センターを積極的に活用しながら樹木管理を行った。屋根・外壁改修においては、ハーモニータウン月隈D号住宅1棟を実施した。
【測定指標の分析】又は【自己評価】 法定点検や長寿命化計画等を踏まえ、住宅及び付帯設備の点検・改修を着実に履行するとともに、経年劣化による住戸の修繕を行いながら、入居者が安心して暮らせる住環境の整備及び管理を実施することができた。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性
公営住宅等長寿命化計画及び公共施設等総合管理計画に基づき、引き続き住環境の整備など居住水準の向上を図る。 今後、予定する三和団地大規模改修、京町・北友田住宅の建替事業にあっては、少子高齢化等の社会情勢の変化や入居者ニーズを把握するとともに、適正管理戸数を念頭に団地を集約するなど、維持管理コスト、ライフサイクルコストの縮減を図る。 振興局管内の用途廃止を予定する住宅においては、地域コミュニティの在り方や今後増加する民間の空き家の活用等も踏まえて改めて見直しを行う。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価
1	住宅管理費		市営住宅（1,166戸）の維持管理に要する経費（営繕） ・修繕料（269件） 9,898,818円 ・委託料 24,802,070円 空き部屋等清掃業務 消防設備点検 エレベータ保守 樹木管理 受水槽貯水槽清掃 緊急通報対応業務	R4決算	必要性	
	市営住宅の維持管理に要する費用			41,779		
				R5決算	効率性	
				42,544		
				R6決算	有効性	
				44,944		
	事業開始年度		H17	R7予算	46,424	
事業の方向性		今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
				建築住宅課長 貞清智司		
				土木建築部建築住宅課		
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価
2	市営住宅ストック総合整備事業		室内改修、屋根・外壁等外部塗装、エレベータ改修 ・修繕料 14,947,267円 退去後室内改修等（98件） ・工事請負費 61,120,400円 月限D号住宅屋根外壁改修 朝日ヶ丘団地B-1号住宅エレベータ改修 水道隔測メータ取替	R4決算	必要性	A
	住宅及び付帯設備等の改修・工事			56,250		
				R5決算	効率性	A
				65,419		
				R6決算	有効性	A
				78,614		
	事業開始年度		H20	R7予算	111,533	
事業の方向性		今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
現状維持	公営住宅等長寿命化計画に基づく快適な住環境の整備や安全性の確保、並びに公共施設総合管理計画に基づく適正な管理戸数の実現		建築住宅課長 貞清智司		土木建築部建築住宅課	
			土木建築部建築住宅課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価
3	三和団地住宅大規模改修事業		三和団地A号住宅入居者の移転説明会、移転先抽選会	R4決算	必要性	A
	三和団地A号・D号住宅の大規模改修					
				R5決算	効率性	A
				8,459		
				R6決算	有効性	A
	事業開始年度		R5	R7予算	183,281	
事業の方向性		今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
現状維持	三和団地A号住宅入居者の退去検査及び移転補償費の支払いを行う。令和8年9月共用開始予定。完成後は従来入居者の戻り入居を行い、空き住戸についてはD号住宅入居者の移転先とする。		建築住宅課長 貞清智司		土木建築部建築住宅課	
			土木建築部建築住宅課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価
4	上津江地区定住交流促進施設管理費		修繕料、清掃業務委託料、消防設備点検委託料、土地借上料等	R4決算	必要性	
	上津江地区定住交流促進施設の管理費			3,822		
				R5決算	効率性	
				4,100		
				R6決算	有効性	
				2,951		
	事業開始年度		H17	R7予算	2,893	
事業の方向性		今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
				建築住宅課長 貞清智司		
				土木建築部建築住宅課		
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績	決算・予算		評価
5	中津江村宿泊交流体験館管理費		修繕料、清掃業務委託料、草刈作業委託料等	R4決算	必要性	
	中津江村宿泊交流体験館の管理費			922		
				R5決算	効率性	
				876		
				R6決算	有効性	
				843		
	事業開始年度		H17	R7予算	855	
事業の方向性		今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
				建築住宅課長 貞清智司		
				土木建築部建築住宅課		

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
6	農林業就労者等宿泊施設管理費	電気料、修繕料、口座振替手数料等	R4決算	必要性	
	140				
	R5決算		効率性		
	201				
	R6決算		有効性		
	193				
R7予算	151				
事業開始年度		H17			
事業の方向性		今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
			建築住宅課長 貞清智司		
			土木建築部建築住宅課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
7	市営住宅解体事業	柚木公営住宅、引野その他住宅の解体にかかる設計委託料及び工事請負費	R4決算	必要性	A
	R5決算		効率性	A	
	R6決算		有効性	A	
R7予算	16,124				
事業開始年度		R6			
事業の方向性		今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
現状維持		解体設計委託、解体工事を行う	建築住宅課長 貞清智司		
			土木建築部建築住宅課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
8				必要性	
			効率性		
			有効性		
事業開始年度					
事業の方向性		今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
9				必要性	
			効率性		
			有効性		
事業開始年度					
事業の方向性		今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
10				必要性	
			効率性		
			有効性		
事業開始年度					
事業の方向性		今後の取組や改善事項	評価者・担当課		

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(2)	住環境の整備と維持管理	土木建築部建築住宅課
	主要施策	②	民間住宅に対する支援等	土木建築部長 大友得央

目指すべき姿	大地震時における木造住宅の倒壊等による被害軽減。高齢者世帯の安心・安全の確保や子育て世帯の負担軽減。空家対策による住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全。
--------	--

主要施策に対する 主な取組	地震対策への支援 暮らし方の変化に対応した住宅改修等への支援 空き家等に対する措置や適正管理に関する助言、情報提供及び問題意識の啓発 空き家等の有効な利活用等に対する支援 アスベスト含有分析調査に対する支援 日田市居住支援協議会の設立
------------------	--

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
耐震診断補助件数（件）	日田市耐震改修促進計画	10	R4	4	7				未達成
耐震改修補助件数（件）	日田市耐震改修促進計画	3	R3	2	2				未達成
アスベスト分析調査補助件数（件）	担当課調べ	2	R5	2	1				未達成
危険空家等除却補助件数（件）	日田市空家等対策計画	4	R4	3	7				達成
リフォーム補助件数（件）	担当課調べ	6	R4	13	9				達成
がけ地近接等危険住宅移転事業補助件数（件）	担当課調べ	1	R3	1	1				達成
危険ブロック塀等除却補助件数（件）	日田市耐震改修促進計画	5	R4	9	9				達成

目標達成度合いの測定結果

進展が大きい	一部又は全部の測定指標で目標が達成されず、主要な測定指標についても目標に近い実績を示さなかったなど、現行の取組を継続した場合、目標達成には相当な期間を要すると思われるもの
--------	---

(判定理由)	「危険空家等除却補助件数」「リフォーム補助件数」「がけ地近接等危険住宅移転事業補助件数」「危険ブロック等除却補助件数」は目標に達したが、「耐震診断補助件数」「耐震改修補助件数」「アスベスト分析調査補助件数」が目標に達していないことから、「進展が大きい」と判定した。
--------	--

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)

【令和6年度に実施した具体的施策・取組】

- ・各補助事業について、市報やホームページ等により事業周知を行うとともに、補助内容の説明や相談対応に努めた。
- ・「耐震改修促進事業」は、住宅相談会や無料簡易耐震診断を実施し、耐震化の必要性について説明を行った。また、県と連携し補助の拡充について検討を行った。
- ・「空家対策事業」は、所有者不存在の危険空き家を「特定空家」に認定し、略式代執行を行った。
- ・「リフォーム支援事業」は、三世帯世帯及び子育て世帯の補助額を拡充したことについて、チラシ等により積極的に周知した。

【測定指標の分析】又は【自己評価】

- ・「耐震診断及び改修補助」は、熊本地震以降関心が薄れてきていることや改修費用が大きいことなどから、耐震化が進まない。
- ・「アスベスト分析調査補助」は、飛散の恐れのある吹付建材が補助対象であり、該当建築物が少ないことから、申請件数が少ない。
- ・「危険空家等除却補助」は、危険空き家の所有者に補助事業を活用した除却を積極的に促したことから、除却が進んだ。
- ・「リフォーム補助」は、三世帯世帯及び子育て世帯の補助額を拡充したことから、当該補助の補助が増加した。
- ・「危険ブロック塀等除却補助事業」は、継続的な事業周知により、申請件数が増加した。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性

- ・「耐震改修促進事業」は、補助額の拡充を行うとともに、耐震改修工事における費用と期間を縮減できる「低コスト工法」の普及に取り組む。
- ・「空家対策事業」は、改めて管理不全な空き家の所有者等に改善依頼を行い、改善が図られない場合は「管理不全空家」又は「特定空家」に認定し空家法に基づく行政指導等を行う。
- ・「アスベスト対策促進事業」「リフォーム支援事業」「危険ブロック塀等除却補助事業」は、引き続き市報やホームページ等により事業周知や啓発を行う。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
1	耐震改修促進事業 昭和56年5月以前に着工された木造一戸建て住宅に対して、耐震診断及び耐震改修工事の補助を行うもの。併せて、耐震化の必要性について、助言や啓発等を行うもの。	- 耐震診断補助：7件 補助額：770千円 - 耐震改修補助：2件 補助額：2,200千円 - 耐震アドバイザー（建築士訪問）：13件 - 無料簡易耐震診断（職員訪問）：5件 - 住宅相談会：1回 - 日田市耐震改修促進計画の改定（計画の期間：R7～R12）	R4決算	必要性 A
			420	
			R5決算	効率性 A
			755	
			R6決算	有効性 B
			2,970	
	事業開始年度	H19	R7予算	
			4,700	
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	拡充	耐震化を促進するには、費用負担の軽減を図ることが重要であり、7年度から耐震改修補助を「補助率2/3又は3/5、限度額100万円又は120万円」から「補助率10/10、限度額150万円」に拡充する。	建築住宅課長 貞清智司	
			土木建築部建築住宅課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
2	アスベスト対策促進事業 建築物に使用されている吹付アスベストの分析調査に要する費用を補助するもの。併せて、アスベストによる健康被害の周知・啓発を行うもの。	分析調査補助：1件 補助額：55千円	R4決算	必要性 A
			R5決算	効率性 A
			319	
			R6決算	有効性 B
			55	
	事業開始年度	R5	R7予算	
			500	
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	現状維持	引き続き、吹付アスベストが施工されている恐れのある建築物の所有者に対し、危険性について啓発を行う。	建築住宅課長 貞清智司	
			土木建築部建築住宅課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
3	空家対策事業 空き家の利活用や適切な維持管理について、情報提供や助言等を行うもの。併せて、倒壊の恐れがある危険な空家に対して、除却工事の補助を行うもの。	- 危険空家等除却：7件 補助額：4,546千円 - 特定空家の除却（略式代執行）：1件 工事費：1,595千円 - 報酬、旅費、消耗品費、通信運搬費：195千円 - 空家無料相談会（1回） - 空家等対策協議会（1回） - 管理不全の空き家所有者への情報提供や助言等	R4決算	必要性 A
			1,609	
			R5決算	効率性 A
			4,790	
			R6決算	有効性 A
			6,336	
	事業開始年度	H28	R7予算	
			9,321	
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	現状維持	法改正により、放置すれば「特定空家」になり得る空き家を「管理不全空家」に認定することで、行政指導が可能となったことから、改めて管理不全の空き家所有者へ助言等を行い、改善が図られない場合は「管理不全空家」に認定する。	建築住宅課長 貞清智司	
			土木建築部建築住宅課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
4	リフォーム支援事業 18歳未満の子供を含む三世帯が同居する世帯、18歳未満の子供がいる世帯、65歳以上の高齢者がいる世帯に対して、リフォーム工事の補助を行うもの。	- 三世帯同居支援型：4件 補助額：2,624千円 - 子育て支援型：2件 補助額：900千円 - 高齢者支援型：3件 補助額：744千円	R4決算	必要性 A
			3,492	
			R5決算	効率性 A
			3,573	
			R6決算	有効性 A
			4,268	
	事業開始年度	H28	R7予算	
			4,200	
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	現状維持	引き続き、子育て世帯の住環境の整備や高齢者世帯の暮らしの安全を図るため、県と連携し、ニーズに即した支援を進めていく。	建築住宅課長 貞清智司	
			土木建築部建築住宅課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
5	がけ地近接等危険住宅移転事業 土砂災害特別警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域又はがけ地に近接している危険性のある住宅に対して、除却及び代替住宅の建設（購入）の補助を行うもの。	- 危険住宅の除却：1件 - 住宅の建設（購入）に係る借入金の利子補給：1件	R4決算	必要性 A
			R5決算	効率性 A
			R6決算	有効性 A
			5,237	
	事業開始年度	R1	R7予算	
			6,214	
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	現状維持	当年度相談を受け、除却費用の積算や複数業者から見積もりを取るよう助言し、除却等に係る費用を抑えた上で、翌年度実施に必要な予算要求を行う。	建築住宅課長 貞清智司	
			土木建築部建築住宅課	

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
6	危険ブロック塀等除却補助事業	・危険ブロック塀等除却：9件 補助額：786千円	R4決算	必要性	A
	762				
	R5決算		効率性	A	
	485				
	R6決算		有効性	A	
	786				
	R7予算	1,000			
事業開始年度	RI				
事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
現状維持	引き続き、危険ブロック塀等の所有者に対し、事業周知と危険性について啓発を行う。		建築住宅課長 貞清智司		
			土木建築部建築住宅課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
7	建築基準法に関する事務事業	・旅費、消耗品費、燃料費、修繕料、通信運搬費、会員等負担金	R4決算	必要性	
	547				
	R5決算		効率性		
	730				
	R6決算		有効性		
	860				
	R7予算	990			
事業開始年度	HI7				
事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
			建築住宅課長 貞清智司		
			土木建築部建築住宅課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
8				必要性	
			効率性		
			有効性		
	事業開始年度				
事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
9				必要性	
			効率性		
			有効性		
	事業開始年度				
事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
10				必要性	
			効率性		
			有効性		
	事業開始年度				
事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課		

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(2)	住環境の整備と維持管理	上下水道局経営管理課、上下水道局施設工務課、市民環境部環境課
	主要施策	③	水道の整備	上下水道局長 梶原 浩正 市民環境部長 高倉 保徳

目指すべき姿	安全、安心な水道水を供給すると共に健全な事業運営に努める
--------	------------------------------

主要施策に対する 主な取組	的確な経営、財政状況の把握 水道事業の効率化の推進 将来の需要等を見据えた施設規模の適正化及び統廃合の推進並びに広域化等の検討 水道施設等の耐震化及び長寿命化並びに適正な維持管理 水道未普及地域における生活用水確保のための支援 安全安心な水道水の確保
------------------	---

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
施設利用率（％）	担当課調べ	65	R4	65	65				達成
上水道の管路の耐震化率（％）	第6次日田市 総合計画	12.1	R4	9.0	10				未達成
老朽化施設・設備・管路の更新実施件数（件）	担当課調べ	9	R4	8	9				達成
経常収支比率（％）	担当課調べ	108	R4	107	109				達成
市民への啓発活動件数（件）	担当課調べ	1	R4	1	1				達成
施設統廃合等検討箇所数（箇所）	担当課調べ	1	R4	1	1				達成

目標達成度合いの測定結果	
相当程度進展あり	一部又は全部の測定指標で目標が達成されなかったが、主要な測定指標はおおむね目標に近い実績を示すなど、現行の取組を継続した場合、相当な期間を要せずに目標達成が可能であると考えられるもの
（判定理由） 上水道の管路の耐震化は、耐震化率目標値の12.1%に対し10.0%と未達成であるものの、他の指標では達成していることから「相当程度進展あり」と判定した。	

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)
【令和6年度に実施した具体的施策・取組】 上水道の管路の耐震化は、令和6年度に1.9km程度の管路を整備したが、耐震化率目標値の12.1%に対し10.0%と達成する事ができなかった。
【測定指標の分析】又は【自己評価】 経常費用に占める経常収益の割合を示す経常収支比率、1日配水量に占める1日最大配水量の割合を示す施設利用率ともに基準値を上回っているが、引き続き公営企業会計の手法により経営状況の分析を進め、経営の改善に努める必要がある。 上水道の管路の耐震化率は、簡易水道事業（26地区）を水道事業に経営統合したことにより、一時的に率が下がり、管路の総延長が大幅に増加したため第6次日田市総合計画に掲げる目標値（令和9年：16.3%）を達成するには、令和7年度以降に各年度、約10.7kmの整備が必要である。 現状の施工延長では、目標指標を達成できないため、令和7年度以降は施工延長の増進を行わないと目標達成は厳しい状況にある。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性
簡易水道事業（26地区）を水道事業に経営統合したことにより、水道管等の施設が大幅に増え、老朽化等への対応が大きな課題であるが、水道サービスの安全で安定した提供を見据え、水道事業基本計画等に沿って、水道施設等の更新事業を継続する。 また、適正な規模に応じた施設の維持管理により、将来的に安定した事業運営が可能となることから、継続して取り組んでいく。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
1	日田市水道事業基本計画等策定事業 水道事業の現状を料金徴収、維持管理、施設や設備機器整備など多様な側面から分析・評価し課題を抽出した上で、計画給水区域・人口・給水量等の基本事項を設定し、概ね15年間に必要となる施設の更新等に関する計画を策定するもの	・水道事業基本計画（R2～R4） ・アセットマネジメント計画（R2～R4） ・水道ビジョン（R3～R4）	R4決算 15,568	必要性 A
			R5決算	効率性 A
			R6決算	有効性 A
			R7予算	
	事業開始年度	R2		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
現状維持	水道事業基本計画、アセットマネジメント計画等により、適正な維持管理、更新を行う。		施設工務課長 渡邊秀一	
			上下水道局施設工務課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
2	上水道建設改良事業 安全・安心な水道水を供給するため、老朽化が進む管路更新や道路改良工事等に伴せて、耐震性を備えた水道管を整備するもの	【令和5年度繰越事業】 ・上水道国道212号導・配水管移設工事 ・上水道五馬本村地区市道本城線配水管移設工事 ・上水道都留川原地区国道387号配水管仮設工事 ・上水道北部地区国道212号配水管布設工事 【令和6年度事業】 ・上水道石松地区連絡管仮設工事 ・上水道（都）銭刈大宮線配水管移設工事 ・上水道市道丸の内保育所線配水管布設工事 ・上水道タ田線配水管布設替工事 ・上水道天ヶ瀬地区市道町内線配水管移設工事	R4決算 103,654	必要性 A
			R5決算 286,891	効率性 A
			R6決算 211,323	有効性 A
			R7予算 308,300	
	事業開始年度	S27		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
見直し	水道施設の老朽化が進み、管路の耐震化も目標に達していないことから、更新事業に伴せて耐震化の推進を図るため見直しが必要と判断する。適正な規模に応じた施設の維持管理に努めることで、将来的に安定した事業運営が可能となることから、継続して取り組んでいく必要がある。		施設工務課長 渡邊秀一	
			上下水道局施設工務課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
3	一般管理費（施設工務課） 給水施設の適正な規模に応じた施設の維持管理により、将来的に安定した事業運営が可能となるよう継続して取り組む経費	□総事業費 需用費 27,537,673 円 役務費 6,757,451 円 委託料 16,080,770 円 使用料及び賃借料 1,084,268 円 工事請負費 39,820,000 円 備品購入費 1,346,300 円 92,626,462 円	R4決算 46,543	必要性 A
			R5決算 90,280	効率性 A
			R6決算 92,626	有効性 A
			R7予算 59,032	
	事業開始年度	H17		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
現状維持	適正な規模に応じた施設の維持管理に努めることで、将来的に安定した事業運営が可能となることから、継続して取り組んでいく必要がある。		施設工務課長 渡邊秀一	
			上下水道局施設工務課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
4	給水施設維持修繕事業 水道施設の信頼性の維持・向上を図るには、事後保全による対処のほかに、点検等で事故を未然に防ぐことが重要である。この予防保全は、故障発生や劣化などを事前に予防する処置であり、劣化の程度に応じて性能を回復・向上させる補修を行うことで、施設の長寿命化と機能維持を図る。	修理件数 突発的修理：41件 17,840千円 計画的修理：4件 3,830千円 その他：2件 35千円	R4決算 19,060	必要性
			R5決算 27,173	効率性
			R6決算 21,705	有効性
			R7予算 22,400	
	事業開始年度	R4		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
			施設工務課長 渡邊秀一	
			上下水道局施設工務課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
5	水道未普及地域整備補助事業 市が運営する水道が普及していない地域において、安心して飲める水を確保するために、必要な施設整備等に要する費用の一部を助成するもの	・給水施設整備工事 4件	R4決算 16,523	必要性
			R5決算 2,371	効率性
			R6決算 6,206	有効性
			R7予算 2,500	
	事業開始年度	H17		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
			環境課長 青木克也	
			市民環境部環境課	

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
6	鶴田・平野・合鶴地区飲料水維持管理事業 中津江村鶴田、平野、合鶴地区の飲料水供給施設維持管理を行うもの	・飲料水供給施設管理 給水人口 18人	R4決算	必要性	
			2,287		
			R5決算	効率性	
			2,871		
			R6決算	有効性	
			2,394		
	事業開始年度	H17	R7予算		
			2,799		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
			環境課長 青木克也		
			市民環境部環境課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
7	飲用井戸等施設事業 給水施設の対象とならない飲用井戸施設の管理を行うもの	・飲用井戸施設管理 中津江村：5施設 給水人口 31人 上津江町：3施設 給水人口 16人	R4決算	必要性	
			3,395		
			R5決算	効率性	
			3,221		
			R6決算	有効性	
			2,655		
	事業開始年度	H17	R7予算		
			3,573		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
			環境課長 青木克也		
			市民環境部環境課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
8	飲料水検査事業 水道未普及地域における飲料水の水質検査を行うもの。	・飲料水検査件数 74件	R4決算	必要性	
			551		
			R5決算	効率性	
			594		
			R6決算	有効性	
			554		
	事業開始年度	H17	R7予算		
			632		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
			環境課長 青木克也		
			市民環境部環境課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
9				必要性	
				効率性	
				有効性	
	事業開始年度				
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
10				必要性	
				効率性	
				有効性	
	事業開始年度				
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(2)	住環境の整備と維持管理	上下水道局経営管理課、上下水道局施設工務課
	主要施策	④	下水道等の整備	上下水道局長 梶原 浩正

目指すべき姿	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全
--------	---------------------

主要施策に対する 主な取組	下水道区域外における合併処理浄化槽の普及 下水道施設のストックマネジメント計画に基づく適正な維持管理及び共同化等の検討 浸水被害の軽減に向けた雨水排水施設の整備及び適正な維持管理
------------------	---

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
管路長寿命化（マンホール蓋）交換箇所（箇所）	公共下水道管路 施設長寿命化計画	28	R4	0	28				達成
下水道普及率（日田市全体・公共）（％）	日田市生活排水 処理施設整備構想	72.8	R4	72.4	73.2				達成
浸水対策実施件数（件）	日田市雨水対策 基本計画	3	R4	3	3				達成

目標達成度合いの測定結果

目標達成	全ての測定指標で目標が達成されたもの
------	--------------------

(判定理由)
管路長寿命化（マンホール蓋）交換箇所数（前年度の繰越事業の完了を含む）、下水道普及率及び、浸水対策実施件数については、目標値を達成した。

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)

【令和6年度に実施した具体的施策・取組】
管路施設の長寿命化対策では、管渠やマンホール等の調査及び実施計画に基づき対策を実施している。 浸水対策工事は、令和5年度からの繰越事業では、財津雨水幹線や城内雨水幹線を実施し、令和6年度では、城内雨水幹線や中央雨水幹線で工事をを行い、雨水出水による被害の軽減が図られている。
【測定指標の分析】又は【自己評価】
下水道普及率については、平成29年度に計画区域内の整備がほぼ完成しており、目標値は達成している。 管路施設の長寿命化については、定期的な点検及び修繕計画の策定を行い、計画的にマンホール蓋等の更新を実施している。 浸水対策の実施については、現在、城内雨水幹線（H30～R7）、財津雨水幹線（H30～R7）を実施中で浸水被害の軽減に努めている。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性

今後の下水道の整備は、令和2年度に策定したストックマネジメント計画及び最適整備構想に基づき、計画的かつ適切な維持管理に取り組む。また、浸水被害軽減に向けて、現在の雨水対策基本計画を踏まえた対策を進めているが、令和6年度に雨水管理総合計画策定ガイドライン（案）が一部見直されたことを踏まえ、日田市雨水管理総合計画を策定したため、今後はこの計画に基づき雨水排水施設の整備や適正な維持管理に努めていく。 また、筑後川や花月川、石井工業団地の浸水被害の軽減対策として、雨水排水ポンプ配備事業を実施しており、内水氾濫による浸水被害の軽減を図っている。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績		決算・予算		評価	
1	河川総務管理費		☐ 国土交通省水門管理分 63箇所 ・委託料: 8,913,107 円 ☐ 日田市水門管理分 42箇所 ・委託料: 3,576,312 円 など		R4決算		必要性	
	水門の管理費等				13,624			
					R5決算		効率性	
					11,548			
					R6決算		有効性	
	14,876							
R7予算		16,653						
事業開始年度		H17						
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
					施設工務課長 渡邊秀一			
					上下水道局施設工務課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績		決算・予算		評価	
2	雨水幹（支）線水門整備事業		☐ 総事業費 ・雨水幹線（水門）工事請負費 1箇所: 31,023,618円 R6決算（繰越） 12,899,230円 R5決算（執行） 18,124,388円（前払い、中間払いの合計）		R4決算		必要性	A
	雨水幹（支）線水門の整備などに係る経費				9,878			
					R5決算		効率性	A
					18,124			
					R6決算		有効性	A
	12,900							
R7予算								
事業開始年度		H24						
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
現状維持		雨水をスムーズに排水させるために老朽化した水門等を年次計画により整備する事業のため、必要な事業である。今後も雨水幹線改修工事等と並行しながら整備を行う必要がある。 また、水門の無動力化を行い、水門管理人の負担軽減と浸水被害の軽減を図る必要がある。			施設工務課長 渡邊秀一			
					上下水道局施設工務課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績		決算・予算		評価	
3	雨水排水ポンプ配備事業		☐ 総事業費 ・緊急配備事業（梅雨期） 電気料: 1,373,697円 修繕料: 298,100円 保険料: 134,270円 委託料: 7,184,100円 計: 8,990,167円		R4決算		必要性	A
	河川からの越水及び内水氾濫による浸水被害の軽減を図るため経費				16,033			
					R5決算		効率性	A
					10,560			
					R6決算		有効性	A
	8,991							
R7予算		12,179						
事業開始年度		H24						
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
現状維持		河川が避難判断水位に達し、内水氾濫が発生した場合、浸水を排水することで被害の軽減を図ることを目的とした事業である。今後も過去に浸水被害が発生した箇所の被害軽減を図るため必要な事業である。また、ポンプについては機械製品であるため、定期的な交換が必要である。同じくホースについても消耗品であるため、定期的な交換が必要である。			施設工務課長 渡邊秀一			
					上下水道局施設工務課			
No.	事業名・事業内容		活動実績		決算・予算		評価	
4							必要性	
							効率性	
							有効性	
事業開始年度								
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
No.	事業名・事業内容		活動実績		決算・予算		評価	
5							必要性	
							効率性	
							有効性	
事業開始年度								
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(2)	住環境の整備と維持管理	土木建築部都市整備課
	主要施策	⑤	法令や条例に基づく規制による誘導等	土木建築部長 大友得央

目指すべき姿	法令や条例に基づく指導等による良好な住環境の形成
--------	--------------------------

主要施策に対する 主な取組	無秩序な土地開発等に対する適正な誘導及び指導等
------------------	-------------------------

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	

目標達成度合いの測定結果

測定指標無し	-
--------	---

(判定理由)

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)

【令和6年度に実施した具体的施策・取組】

日田市環境保全条例に基づく土地開発協議件数：20件
(うち 分譲宅地開発：7件 (53区画)、太陽光発電施設：1件)

【測定指標の分析】又は【自己評価】

一定の規模を超える土地開発については、土地開発協議により土地造成に係る内容について適正な協議と指導等を行うことで、無秩序な土地開発の抑制と良好な宅地水準が確保できている。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性

今後も引き続き一定規模以上の土地利用については、開発協議により規制誘導を行うことで、環境悪化の防止と良好な住環境の確保を図るとともに、環境悪化が懸念される開発については、関係機関との調整を図りながら適切な指導等を行っていく。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
1	土地利用規制等対策事務事業 土地の乱開発や無秩序な土地利用を防止するために、一定面積以上の大規模な土地の取得をした時は、県に市を経由して利用目的など届出を行うための経費	・令和6年度件数 土地取引届出件数 71件 不受理届出件数（届出遅延） 11件	R4決算	必要性
			643	
			R5決算	効率性
			765	
			R6決算	有効性
			777	
	事業開始年度	H17	R7予算	718
事業の方向性		今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
			都市整備課長 大東良助	
			土木建築部都市整備課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
2	土地開発協議 日田市環境保全条例に基づく、1,000㎡以上の土地開発についての協議	・土地開発協議件数 20件	R4決算	必要性
			R5決算	効率性
			R6決算	有効性
	事業開始年度	H17	R7予算	
事業の方向性		今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
			都市整備課長 大東良助	
			土木建築部都市整備課	
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価
3				必要性
				効率性
				有効性
	事業開始年度			
事業の方向性		今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価
4				必要性
				効率性
				有効性
	事業開始年度			
事業の方向性		今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価
5				必要性
				効率性
				有効性
	事業開始年度			
事業の方向性		今後の取組や改善事項	評価者・担当課	

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(3)	公園・緑地の整備と維持管理	文化スポーツ観光部文化財課
	主要施策	①	歴史・文化や自然環境を活かした公園・緑地の整備	文化スポーツ観光部長 瀬口英隆

目指すべき姿	日田の歴史や自然と調和した公園
--------	-----------------

主要施策に対する 主な取組	地域の特性や文化資源を活かした公園等の整備及び保全 地域材を使用した公園施設の整備
------------------	--

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
ガランドヤ古墳Ⅰ号墳の一般公開（回）	日田市教育行政実施方針	6	R4	6	6				達成

目標達成度合いの測定結果	
目標達成	全ての測定指標で目標が達成されたもの
(判定理由)	
公園の公開活用の目標を達成したことから「目標達成」と判断した。	

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)
【令和6年度に実施した具体的施策・取組】 ガランドヤ古墳公園の維持管理（芝や生垣管理、清掃、開閉）を行い、ガランドヤ古墳Ⅰ号墳の公開を一般公開6回と予定通り実施するとともに、学校や公民館等の団体の施設見学にも対応できた。 そのほか、案内サポーターの市民参加による古墳一般公開を実施できた。 また、ガランドヤ古墳2号墳の整備方針策定の基礎資料取得のための環境調査と環境整備を実施した。
【測定指標の分析】又は【自己評価】 年間の維持管理やⅠ号古墳の一般公開6回を予定通り実施するとともに、学校や公民館などの見学にも対応することで、歴史公園の活用を図ることができた。 また、他市町村と共同での古墳公開に取り組むことで、市内外の認知度を高めることができた。 そのほか、案内サポーターなどの市民参加の促進に取り組み、公開環境の拡充を図ることができた。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性
歴史公園の維持管理に努め、基本計画や公開基準に基づいて古墳の公開や解説を行うことで、公園の活用に努める。 また、案内サポーターを育成し、市民参加による公開環境の拡充を図る。 そのほか2号墳については、環境調査を一定期間実施し、現状の環境把握及び装飾壁画の保存に必要な条件の整理を行ったうえで、保存の在り方について検討を行う。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
1	ガランドヤ古墳群保存整備事業 国史跡に指定されているガランドヤ古墳群の適切な保存及び活用を図るため、史跡公園として整備を行うもの	【調査ほか】 ・2号墳等の環境調査 438,258円 ・そのほか事務費 24,219円	R4決算	必要性	A
			432		
			R5決算	効率性	A
			634		
			R6決算	有効性	B
			463		
	事業開始年度	H16	R7予算		
		517			
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
	現状維持	2号墳の環境調査を一定期間行っうえて、保存整備のあり方について検討を行う。	文化財保護課長 片桐由美		
			文化スポーツ観光部文化財課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
2	史跡ガランドヤ古墳公園維持管理事業 史跡ガランドヤ古墳公園の芝生等の維持管理やガイダンス施設の管理（カギの開閉及び清掃など）、公園活用を行うもの。	【維持管理委託経費】 2,635,300円 ・公園施設機械整備、除草維持維持管理業務、清掃、鍵開閉業務 【そのほか経費】 730,752円 ・案内サポーター謝礼 146,354円 ・光熱水費等経費 315,998円 ・修繕料 268,400円 一般公開10～3月6回（341名）5団体見学（91名）	R4決算	必要性	
			2,409		
			R5決算	効率性	
			2,870		
			R6決算	有効性	
			3,367		
	事業開始年度	R2	R7予算		
		3,324			
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
			文化財課長 片桐由美		
			文化スポーツ観光部文化財課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
3				必要性	
				効率性	
				有効性	
	事業開始年度				
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
4				必要性	
				効率性	
				有効性	
	事業開始年度				
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
5				必要性	
				効率性	
				有効性	
	事業開始年度				
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(3)	公園・緑地の整備と維持管理	土木建築部都市整備課
	主要施策	②	身近な公園の整備	土木建築部長 大友得央

目指すべき姿	地域バランスを考慮した公園
--------	---------------

主要施策に対する 主な取組	地域バランスに配慮した公園の整備 私有地等を有効活用した借地公園の整備
------------------	--

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	

目標達成度合いの測定結果

測定指標無し	-
--------	---

(判定理由)

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)

【令和6年度に実施した具体的施策・取組】

三花地区より要望のあった借地公園について、地元自治会や三花地区振興協議会と協議を重ねた。

【測定指標の分析】又は【自己評価】

三花地区の借地公園を整備することにより、子どもから高齢者まで幅広い年齢層への憩いの場や地域コミュニティを提供することができる。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性

地域における配置バランスや利用実態を考慮しながら、公園等の整備を行う。

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(3)	公園・緑地の整備と維持管理	土木建築部都市整備課
	主要施策	③	安全で安心な公園・緑地づくり	土木建築部長 大友得央

目指すべき姿	誰もが安全で安心して利用できる公園
--------	-------------------

主要施策に対する 主な取組	遊具など公園施設の長寿命化計画に基づく適切な改修と維持管理 トイレなど公園施設のバリアフリー化 インクルーシブ遊具の導入 安全に配慮した緑地の管理
------------------	--

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
バリアフリースイールの整備箇所数（累計）（箇所）	第6次日田市 総合計画	55	R4	53	55				達成

目標達成度合いの測定結果

目標達成	全ての測定指標で目標が達成されたもの
------	--------------------

(判定理由)
測定指標の目標値に達しており、本町第二公園にバリアフリースイールを1箇所整備したほか、遊具などの施設の維持管理を適切に行っていることから、「目標達成」と判定した。

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)

【令和6年度に実施した具体的施策・取組】
すべての公園・緑地において、指定管理者等により公園施設や樹木・緑地の点検と補修等を適切に行うなど、年間を通じ利用者にとって安全安心であるよう維持管理に努めた。 また、本町第二公園のトイレ改修や鏡坂公園における防護柵の改修など安心して利用できる公園づくりに努め、さらに老朽化に対する安全対策の強化とコストの軽減や平準化を図るため、日田市公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新などに取組んだ。
【測定指標の分析】又は【自己評価】
バリアフリースイールを整備したほか、照明灯の改修など計画に基づく事業を実施し、利便性の向上や安全・安心を確保した。 また、公園施設については、遊具の年2回の点検や維持管理等を随時行うことで公園の安全確保を図った。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性

すべての公園において、指定管理や委託及び直営により年間を通して適切な維持管理を行い安全確保に取り組む。施設の整備についても、計画に基づいた補修や改修、改築などを行っていくとともにバリアフリー化を進めることで、利用者の利便性の向上と安全確保を図っていく。
--

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績		決算・予算		評価	
1	公園施設整備事業		・公園施設維持補修等工事 24件		R4決算	必要性	A	
	公園施設の不具合等による整備や更新、補修を行う。				11,020			
					R5決算	効率性	A	
					25,083			
					R6決算	有効性	A	
					14,094			
			R7予算	31,992				
事業開始年度		－						
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
現状維持		施設の老朽化に伴い、補修等を必要とする施設の増加が想定されるが、計画的な整備を行う。			都市整備課長 大東良助			
					土木建築部都市整備課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績		決算・予算		評価	
2	公園施設長寿命化対策事業		・月隈公園プール改築設計業務 3,817,000円 ・鏡坂公園外改修工事 3,784,000円 ・萩尾公園東屋改修工事 3,986,962円 ・大原公園園路改修工事 7,902,000円		R4決算	必要性	A	
	公園施設の計画的な維持管理の方針を定め、施設の延命や維持管理費の縮減・平準化を図る				42,756			
					R5決算	効率性	A	
					25,112			
					R6決算	有効性	A	
					19,490			
			R7予算	47,600				
事業開始年度		H27						
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
現状維持		公園施設長寿命化計画に基づき、維持管理の平準化を図る。			都市整備課長 大東良助			
					土木建築部都市整備課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績		決算・予算		評価	
3	公園トイレ整備事業		本町第二公園トイレ ・改築工事 10,186,000円		R4決算	必要性	A	
	公園のトイレでバリアフリー化されていないものや老朽化が進んでいるものについて、日田市公共施設等総合管理計画に基づいた整備を行う。				12,226			
					R5決算	効率性	A	
					14,080			
					R6決算	有効性	A	
					10,186			
			R7予算					
事業開始年度		H25						
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
現状維持		利便性・快適性高尿のため、公園トイレのバリアフリー化を行うと共に、日田市公共施設総合管理計画に基づいた整備を行う。			都市整備課長 大東良助			
					土木建築部都市整備課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績		決算・予算		評価	
4	公園管理費		・旅費 6,500円 ・消耗品費 66,854円 ・燃料費 23,668円 ・修繕料 146,393円 ・保険料 17,540円 ・手数料 11,500円 ・賃借料 402,500円 ・負担金 18,000円 ・公課費 6,600円		R4決算	必要性		
	公園利用者が快適で安全に利用できるよう、維持管理を行う				654			
					R5決算	効率性		
					646			
					R6決算	有効性		
					700			
			R7予算	769				
事業開始年度		H17						
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
					都市整備課長 大東良助			
					土木建築部都市整備課			
No.	事業名・事業内容		令和6年度活動実績		決算・予算		評価	
5	公園緑地管理事業		・指定管理委任 71公園（協定期間：R2～R6） ・指定管理外委託 60公園 ・直営管理 1公園		R4決算	必要性		
	公園緑地の日常的な維持保全、点検等を行う				202,528			
					R5決算	効率性		
					196,010			
					R6決算	有効性		
					204,891			
			R7予算	219,256				
事業開始年度		H17						
事業の方向性		今後の取組や改善事項			評価者・担当課			
					都市整備課長 大東良助			
					土木建築部都市整備課			

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
6	島内休憩所管理事業	・指定管理委任（協定期間：R3～R7）	R4決算	必要性	
	217				
	R5決算		効率性		
	217				
	R6決算		有効性		
	217				
	R7予算	217			
事業開始年度	H28				
事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
			都市整備課長 大東良助		
			土木建築部都市整備課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
7	公園施設解体事業	解体撤去施設数 0個	R4決算	必要性	A
	R5決算		効率性	A	
	R6決算		有効性	A	
	R7予算	1, 129			
事業開始年度	R6				
事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
現状維持	日田市公共施設総合管理計画に基づき、事業の実施を行う。		都市整備課長 大東良助		
			土木建築部都市整備課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
8				必要性	
			効率性		
			有効性		
	事業開始年度				
事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
9				必要性	
			効率性		
			有効性		
	事業開始年度				
事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
10				必要性	
			効率性		
			有効性		
	事業開始年度				
事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課		

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(3)	公園・緑地の整備と維持管理	土木建築部都市整備課
	主要施策	④	緑地の保全と緑化の推進	土木建築部長 大友得央

目指すべき姿	緑地の保全と緑化の推進
--------	-------------

主要施策に対する 主な取組	緑地の保全や公共施設等の緑化の推進
------------------	-------------------

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	

目標達成度合いの測定結果

測定指標無し	-
--------	---

(判定理由)

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)

【令和6年度に実施した具体的施策・取組】

緑地7か所の管理については、年間を通じて適切な管理を行う緑の保全に努めた。
また、公園内においては、枝の落下や倒木の危険があると判断した樹木の処理など利用者の安全確保に努めた。

【測定指標の分析】又は【自己評価】

緑地及び公園内の樹木等について、剪定などの維持管理により利用者の安全確保を図ることができた。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性

今後も、緑地や公園内の安全安心のために樹木や植栽について剪定などを行い、適切な管理を行うと共に、公園利用者へ安らぎと潤いを提供するため、植樹等にも取り組む。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
1	公園等緑化推進事業 公園及び緑地における樹木の剪定や植替え、支障木や枯損木の伐採を行う	・緑地の維持管理 7箇所（日田駅北広場、中央一丁目緑地、元町緑地、大原ポケットパーク、日田高横ポケットパーク、天神バスストップ、花月緑地） ・公園の樹木管理（亀山公園、大原公園、鏡坂公園、田来原美しい森づくり公園、日田駅南広場、京町児童公園）	R4決算	必要性	
			6,080		
			R5決算	効率性	
			6,080		
			R6決算	有効性	
			6,977		
	事業開始年度	H17	R7予算		
			6,979		
	事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課	
				都市整備課長 大東良助	
				土木建築部都市整備課	
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
2				必要性	
				効率性	
				有効性	
	事業開始年度				
	事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課	
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
3				必要性	
				効率性	
				有効性	
	事業開始年度				
	事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課	
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
4				必要性	
				効率性	
				有効性	
	事業開始年度				
	事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課	
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
5				必要性	
				効率性	
				有効性	
	事業開始年度				
	事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課	

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(4)	地域特性を活かした空間づくり	土木建築部都市整備課
	主要施策	①	市街地や観光拠点等の整備	土木建築部長 大友得央

目指すべき姿	賑わいの中心となる空間づくり
--------	----------------

主要施策に対する 主な取組	利便性の高い中心市街地の整備
------------------	----------------

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
日田駅地下歩道及び日田駅北広場の整備率（％）	担当課調べ		R4	100					—

目標達成度合いの測定結果

目標達成	全ての測定指標で目標が達成されたもの
------	--------------------

（判定理由）
令和3年度から行われてきた日田駅地下歩道の美装化を終え、令和4年度5月に日田駅周辺広場のすべてを整備完了したことから「目標達成」とした。

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)

【令和6年度に実施した具体的施策・取組】
令和4年度に「目標達成」したことから、令和5年度の具体的施策や取組については実施していない。

【測定指標の分析】又は【自己評価】
日田駅周辺広場の整備が完了し、移動円滑化と利便性・回遊性の向上につながるとともに、賑わいの中心となる空間づくりを支援することができた。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性

中心市街地の機能向上と、地域空間の整備を図る。

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(4)	地域特性を活かした空間づくり	土木建築部都市整備課
	主要施策	②	景観の形成	土木建築部長 大友得央

目指すべき姿	市民協働で行う歴史的な町並み等の維持・保存による良好な景観形成
--------	---------------------------------

主要施策に対する 主な取組	歴史や文化、自然環境と調和した景観の形成 保全と活用が図られた賑わいのあるまちづくりの推進
------------------	--

測定指標	指標 の典拠	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
事業補助の活用件数（件）	担当課調べ	1	R4	6	0				未達成
まちづくり会議の開催回数及びイベント等回数（回）	担当課調べ	7	R4	7	11				達成

目標達成度合いの測定結果	
相当程度進展あり	一部又は全部の測定指標で目標が達成されなかったが、主要な測定指標はおおむね目標に近い実績を示すなど、現行の取組を継続した場合、相当な期間を要せずに目標達成が可能であると考えられるもの
（判定理由） 景観形成助成事業は目標を達成しなかったが、まちづくり会議の開催回数及びイベント等回数は目標を達成し、隈まちづくりセンターの活用が図られ、賑わいのあるまちづくりが推進された。	

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)
【令和6年度に実施した具体的施策・取組】 ・ 景観法に基づく届出：13件（うち景観形成重点地区：4件） ・ 景観形成助成金による助成件数：0件 ・ 隈まちづくりセンターの利用件数：51件（音楽イベント、会議、事業所研修等）
【測定指標の分析】又は【自己評価】 景観形成助成事業の活用件数は、目標を達成しなかった。事業内容について事前相談はあったものの、事業者の資金計画や施工時期等を理由として、最終的に補助金申請に至らなかったものと分析する。 隈まちづくりセンターでは、音楽イベントなどのまちづくり活動や、会議や研修など様々な形で活用が図られた。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性
将来的に、町の空洞化や人口減少が進むことにより、町並み景観が大きく変わっていく可能性がある。建物所有者等が景観形成助成事業を活用することで、豆田地区や隈地区などの景観形成重点地区の歴史的な町並み景観の形成を維持できるよう事業を継続する。 隈まちづくりセンターは、押し花美術館の撤退やコロナ感染症の影響により利用者数が減少していたが、令和6年度から一室を日田旅館組合の事務所として賃貸したことから、開館日は人が常駐することとなった。これに加えて、指定管理者である隈まちづくりセンター運営協議会によるイベントの企画・実施により施設利用者数および来館者数が増加した。現在の状況を維持するため、次期指定管理(R8～R12)に向けて、隈まちづくりセンター運営協議会と協議を行っていく。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
1	景観形成助成事業 景観形成重点地区における建築物等の修景に係る経費に対し助成するもの。	建物の修景助成（外観に関する工事） ○助成件数 0件	R4決算	必要性 B
			3,129	
			R5決算	効率性 A
			1,000	
			R6決算	有効性 A
			R7予算	
	事業開始年度	H4	2,000	
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	現状維持	将来的に、町の空洞化や人口減少が進むことにより、町並み景観が大きく変わっていく可能性がある。建物所有者等が景観形成助成事業を活用することで、豆田地区や隈地区などの景観形成重点地区の歴史的な町並み景観の形成を維持できるよう事業を継続する。	都市整備課長 大東良助	
			土木建築部都市整備課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
2	限まちづくりセンター管理事業 限まちづくりセンター（黎明館）の管理運営委託	・指定管理委託料 指定管理者：限まちづくりセンター管理運営協議会 指定管理期間：R3～R7（5年間） 施設利用回数：51回（利用人数：3,646人）	R4決算	必要性
			598	
			R5決算	効率性
			598	
			R6決算	有効性
			628	
	事業開始年度	H17	R7予算	598
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
			都市整備課長 大東良助	
			土木建築部都市整備課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
3	屋外広告物法に関する事務事業 違法広告物に対する是正・指導措置及び除去・保管に関する事務を行うための経費	・許可等の実施状況 新規：16件（32個（枚）） 更新：127件（356個（枚）） 除却：9件（11個（枚）） *手数料：2,671,140円	R4決算	必要性
			95	
			R5決算	効率性
			95	
			R6決算	有効性
			92	
	事業開始年度	H21	R7予算	95
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
			都市整備課長 大東良助	
			土木建築部都市整備課	
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価
4				必要性
				効率性
				有効性
	事業開始年度			
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価
5				必要性
				効率性
				有効性
	事業開始年度			
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(4)	地域特性を活かした空間づくり	文化スポーツ観光部文化財課
	主要施策	②	景観の形成	文化スポーツ観光部長 瀬口英隆

目指すべき姿	市民協働で行う歴史的な町並み等の維持・保存による良好な景観形成
--------	---------------------------------

主要施策に対する 主な取組	歴史や文化、自然環境と調和した景観の形成
------------------	----------------------

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
伝統的建造物修理済建造物数（累計）（件）	第6次日田市総合計画	56	R4	53	55				未達成
屋外消火栓設置件数（累計）（基）	担当課調べ	39	R4	36	39				達成

目標達成度合いの測定結果	
相当程度進展あり	一部又は全部の測定指標で目標が達成されなかったが、主要な測定指標はおおむね目標に近い実績を示すなど、現行の取組を継続した場合、相当な期間を要せずに目標達成が可能であると考えられるもの
(判定理由)	
伝統的建造物の実数値である伝統的建造物修理済建造物数は1件未達ではあったが、延べ件数である保存修理工事件数は年間で3件の工事が完了しており、概ね目標は達成された。また、屋外消火栓の設置については目標値を達成することができた。	

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)
【令和6年度に実施した具体的施策・取組】 建造物修理については、令和5年度からの継続工事である長屋1件と平成24年度以来2度目の保存修理工事となる主屋1件、新規での保存修理工事となる主屋1件の合計3件の補助事業を実施した。伝統的建造物の実数値として表される伝統的建造物修理済建造物数としては、令和5年度から1件の実績増となった。 防災事業では、屋外消火栓を3基設置することができた。 文化的景観保護推進事業では、有識者及び地元関係者から構成される「日田小鹿田焼の里景観委員会」を2回開催し、重要文化的景観制度の見直しについて協議を行った。その他にも、住民説明会や懇談会等を開催した。 【測定指標の分析】又は【自己評価】 建造物については3件の保存修理工事を実施し、予定通りに事業が完了したため、伝建地区の景観維持・保存の面において貢献できた。文化的景観保護推進事業では、「日田小鹿田焼の里文化的景観保存計画」を見直すこととしていたが、地元住民との協議にあたり、見直しの方向性に関する検討に時間を要し、年度内に着手することができなかった。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性
豆田町における伝統的な町並みを維持・保存するためには、老朽化した建造物を修理事業により復原していくことが優先課題であるとともに、防災面での屋外消火栓の設置など、所有者はもとより地域住民や技術者団体との連携を深めながら、今後も引き続き伝建事業を推進し、伝統的な景観の形成に努めていく。 文化的景観保護推進事業での「日田小鹿田焼の里景観保存計画」の見直しにあたっては、地元住民の理解と協力が不可欠になる。このため、地元住民の意向を踏まえ、現在、重要文化的景観区域内に適用されている建築等の行為に関する基準（規制）について、これを緩和する方向で、引き続き、住民説明及び関係各課との協議を進めることとする。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
1	伝統的建造物群保存事業	【活動内容】 ・建造物修理補助事業 3件 (25,500,000円) ・日田市町並み保存審議会 1回 ・建造物修理に係る設計相談会開催 1回 ・豆田町伝建保存会補助金 (350,000円) ・文化財防火デー防火訓練実施 (R7.1.26)	R4決算 47,063	必要性	A
		R5決算 20,031	効率性		
		R6決算 35,151		有効性	B
		R7予算 32,340			
	事業開始年度	H17			
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
	現状維持	豆田町の伝統的な町並みを維持・保存・活用していくために、修理・修繕工事等により継続した支援を推進していくが、地域住民の高齢化や世代交代等により建造物の維持・管理が難しくなっている物件や物価高騰に伴う工事費の上昇が所有者の負担増につながるといった課題があることから、保存だけでなく活用につながる新たな支援策や制度運用の見直しも視野に入れ、地域住民や技術者団体と連携を深めることで、伝統的な景観の形成に努めていく。	文化財課長 片桐由美 文化スポーツ観光部文化財課		
2	文化的景観保護推進事業	【事業費】 ・報償費 85,000円 ・旅費 127,660円 【協議会等開催状況】 ・景観委員会 2回 (R6.9.18、R7.3.27)	R4決算 65	必要性	A
		R5決算 294	効率性		
		R6決算 213		有効性	C
		R7予算			
	事業開始年度	H19			
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
	現状維持	重要文化的景観「小鹿田焼の里」の保存計画の見直しや規制緩和について、地元住民との協議を続けていく。	文化財課長 片桐由美 文化スポーツ観光部文化財課		
3				必要性	
				有効性	
	事業開始年度				
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
4				必要性	
				有効性	
	事業開始年度				
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
5				必要性	
				有効性	
	事業開始年度				
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課		

令和6年度 行政評価調書

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(4)	地域特性を活かした空間づくり	土木建築部都市整備課
	主要施策	③	計画的な土地利用	土木建築部長 大友得央

目指すべき姿	都市計画マスタープラン等に則した土地利用
--------	----------------------

主要施策に対する 主な取組	各種計画に則した長期的、計画的かつ総合的な土地利用の推進
------------------	------------------------------

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	

目標達成度合いの測定結果

測定指標無し	-
--------	---

(判定理由)

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)

【令和6年度に実施した具体的施策・取組】

日田市都市計画公園ランドや古墳公園について、都市計画決定（名称の変更）を行った。

【測定指標の分析】又は【自己評価】

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性

都市計画道路や公園などの都市施設の計画的な事業の執行を図るため、必要となる都市計画の決定及び変更手続きを適宜行っていく。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
1	土地利用規制等対策事務事業 土地の乱開発や無秩序な土地利用を防止するために、一定面積以上の大規模な土地の取得をした時は、県に市を経由して利用目的など届出を行うための経費	・令和6年度件数 土地取引届出件数 71件 不受理届出件数（届出遅延） 11件	R4決算	必要性
			643	
			R5決算	効率性
			765	
			R6決算	有効性
			777	
	事業開始年度	H17	R7予算	718
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
			都市整備課長 大東良助	
			土木建築部都市整備課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
2	都市計画変更事業 都市計画法第18条の2の規定に基づき、平成25年3月に策定された「日田市都市計画マスタープラン」は、約20年後の都市のあるべき姿を目標にした長期的な構想であることから、10年の経過による進捗や状況の変化などとの整合を図るための中間見直しを行うもの。	令和6年度 日田市都市計画マスタープラン中間見直し業務委託 10,997,800円 地区ごとの方針等について、住民等の意見を広く聞くため「地区別懇談会（20地区）」を追加したことから、令和7年度へ繰り越して事業を実施する。	R4決算	必要性
				A
			R5決算	効率性
				A
			R6決算	有効性
				A
	事業開始年度	R5	R7予算	10,998
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	現状維持	・日田市都市計画マスタープランでは市域を20地区に区分している。地区ごとのまちづくりの方針について、各地区の住民と「地区別懇談会」で意見交換を行い、意見を集約し必要な変更を加えて、日田市都市計画マスタープランの見直しを完了する。	都市整備課長 大東良助	
			土木建築部都市整備課	
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価
3				必要性
				効率性
				有効性
	事業開始年度			
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価
4				必要性
				効率性
				有効性
	事業開始年度			
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価
5				必要性
				効率性
				有効性
	事業開始年度			
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(5)	情報通信基盤の整備と維持管理	総務企画部情報統計課
	主要施策	①	ブロードバンド環境の利活用	総務企画部長 宮崎 和昭

目指すべき姿	豊かさに繋がる情報通信基盤の整備と運営
--------	---------------------

主要施策に対する 主な取組	民間ケーブルテレビ事業者との連携体制の構築 情報通信基盤の有効活用(観光施設、指定避難場所等へのWi-Fi環境の整備及びテレワークへの活用) 公設の光ケーブル網の適切な維持管理の実施 時代に応じたサービスの提供に対応する機器更新の検討
------------------	--

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
Wi-Fi環境の整備箇所数(累計)(箇所)	第6次日田市総合計画	22	R6	21	21				未達成
公設伝送路の障害発生件数(災害による障害を除く)(件)	担当課調べ	0	R1	0	0				達成

目標達成度合いの測定結果

相当程度進展あり	一部又は全部の測定指標で目標が達成されなかったが、主要な測定指標はおおむね目標に近い実績を示すなど、現行の取組を継続した場合、相当な期間を要せずに目標達成が可能であると考えられるもの
----------	---

(判定理由)
Wi-Fi環境の整備箇所(累計)については、第6次日田市総合計画第3期基本計画において、令和6年度で22箇所整備が目標値であったが21箇所と、わずかに目標未達成となっている。なお、令和4年度からの測定指標である公設伝送路の障害発生件数(災害による障害を除く)については0件であり、目標達成となっている。

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)

【令和6年度に実施した具体的施策・取組】
Wi-Fi環境の整備については、令和6年度に新規で整備した施設はなかった。
公設伝送路の管理については、維持管理の一環として公設伝送路への蟻害状況の調査や、獣害による断線が多発する箇所を特殊な保護層のあるケーブルへの交換を行った。

【測定指標の分析】又は【自己評価】
Wi-Fi環境の整備については、令和6年度に整備した施設はなく、目標は未達成であった。
公設伝送路の管理については、伝送路の定期的なメンテナンスを行った結果、令和6年度中の障害発生件数を0件とすることができた。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性

Wi-Fi環境の整備については、需要の確認をしながら環境整備を進める。
公設伝送路の管理については、光ケーブルなどの維持管理を行いながら、今後も情報通信基盤の有効活用を進めていく。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
1	伝送路設備管理事業 地上デジタル放送や高速通信網への対応を目的として整備を行った日田市情報センターの運営を、令和4年3月末で民間ケーブルテレビ事業者に移管する公設民営化を行った。令和4年度から引き続き市の管理となる光ケーブル幹線及び2次拠点設備の維持管理事業を行うもの。	需用費 光熱水費（電気料等） 4,944千円 修繕料（伝送路等） 23,001千円 役務費 保険料（伝送路保険料） 5,906千円 委託料（伝送路、ネットワーク機器等） 53,905千円 使用料及び賃借料（電柱共架料等） 21,268千円 原材料費（光ケーブル等） 7,545千円 備品購入費（2次拠点機器等） 2,312千円 その他 522千円	R4決算	必要性	
			110,719		
			R5決算	効率性	
			112,315		
			R6決算	有効性	
			119,403		
	事業開始年度	R4	R7予算		
			130,266		
事業の方向性			今後の取組や改善事項		
			評価者・担当課		
			情報統計課長 長谷部 忠		
			総務企画部情報統計課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
2	ケーブルテレビ利用料金差額補助事業 テレビ地上波利用料金について、民営化後5年間は、激変緩和措置として旧水郷テレビ利用者は月額2,090円に据え置いているが、K C V利用料金は月額2,200円であることから、旧水郷テレビ利用者の利用料について差額が月額110円発生するため、K C Vに差額分の補助を行うもの。	負担金・補助及び交付金（ケーブルテレビ料金差額補助金）7,230千円 令和5年3月末現在テレビ放送契約件数：5,415件	R4決算	必要性	B
			7,559		
			R5決算	効率性	A
			7,398		
			R6決算	有効性	A
			7,230		
	事業開始年度	R4	R7予算		
			7,260		
事業の方向性			今後の取組や改善事項		
現状維持			民営化後5年間（令和4年度～令和8年度）の激変緩和措置であるため、令和8年度の事業完了まで事業者と連携し引き続き運用を行う。		
			情報統計課長 長谷部 忠		
			総務企画部情報統計課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
3	ケーブルテレビ利用料金助成事業 民営化後5年間は激変緩和措置として、旧水郷テレビ利用者でテレビ地上波のみ視聴する生活保護世帯や非課税世帯に対して、市から区分に応じた額を助成する制度を運用する。この制度は水郷テレビで行っていた減免制度の代替措置であり、毎年助成金額を減額しながら令和8年度までで終了する。	役務費 通信運搬費（郵便料） 200千円 負担金・補助及び交付金（ケーブルテレビ料金助成金） 4,087千円 令和6年度助成金額（円/月） 令和7年3月末現在（対象件数） 非課税世帯 630円 486件 生活保護世帯 950円 23件	R4決算	必要性	B
			9,181		
			R5決算	効率性	A
			6,450		
			R6決算	有効性	A
			4,287		
	事業開始年度	R4	R7予算		
			3,199		
事業の方向性			今後の取組や改善事項		
現状維持			民営化後5年間（令和4年度～令和8年度）の激変緩和措置であるため、令和8年度の事業完了まで引き続き運用を行う。		
			情報統計課長 長谷部 忠		
			総務企画部情報統計課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
4	伝送路設備更新事業 公設伝送路の2次拠点（19か所）に設置している光増幅器について、経年劣化による故障のリスクが高まってきたため、機器更新を行うもの。また、より利便性の高い伝送路管理システムへ更新することにより、公設伝送路の保守・管理の効率化を進めるもの。	伝送路設備更新委託料 14,665千円（伝送路管理システム更新） 備品購入費 7,920千円（光増幅器6台）	R4決算	必要性	B
			16,764		
			R5決算	効率性	A
			19,580		
			R6決算	有効性	A
			22,585		
	事業開始年度	H23	R7予算		
事業の方向性			今後の取組や改善事項		
現状維持			今後も公設伝送路設備について、経年劣化した機器の更新を行う必要があるため、保守業者と連携を取りながら維持管理を行っていく。また、今後の情報通信量の増大にどのように対応すべきか検討をしていく。		
			情報統計課長 長谷部 忠		
			総務企画部情報統計課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
5				必要性	
				効率性	
				有効性	
	事業開始年度				
事業の方向性			今後の取組や改善事項		
			評価者・担当課		

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(6)	減災対策と災害復旧	土木建築部土木課、土木建築部都市整備課
	主要施策	①	減災対策の推進	土木建築部長 大友得央

目指すべき姿	災害危険箇所の解消に向けた防災、減災対策の推進と住民の安全を確保するための民家裏等の整備 防災・減災対策の推進を図る
--------	---

主要施策に対する 主な取組	急傾斜地等の崩壊防止対策工事の推進 災害に備えた公共施設等の整備及び減災対策の推進 災害危険箇所の解消に向けた防災、減災対策の推進 治山、治水対策に伴う国、県の関係団体への要請
------------------	---

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	
市営急傾斜地崩壊対策事業実施箇所数（箇所）	担当課調べ	4	R5	4	8				達成
県営急傾斜地崩壊対策事業実施箇所数（箇所）	担当課調べ	17	R4	17	18				達成
災害防除工事の整備箇所数（箇所）	第6次日田市 総合計画	3	R5	3	3				達成

目標達成度合いの測定結果

目標達成	全ての測定指標で目標が達成されたもの
------	--------------------

(判定理由)	急傾斜地崩壊対策事業、災害防除工事ともに目標値に達したため「目標達成」と判定した。
--------	---

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)

【令和6年度に実施した具体的施策・取組】
・住民の生命・財産を守るための急傾斜地崩壊対策工事と市道における落石等の危険箇所の対策工事を実施した。（市営急傾斜地崩壊対策事業 8箇所、県営急傾斜地崩壊対策事業 18箇所、災害防除事業 3箇所）
【測定指標の分析】又は【自己評価】
・急傾斜地崩壊対策事業については、県営市営とも対策の要望が毎年寄せられているが、整備は確実に進んでいる。 ・災害防除については、毎年計画的に整備を進めている。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性

・熊本地震や平成29年九州北部豪雨、令和2年7月豪雨災害等の影響により、急傾斜地での転石や土砂等の崩壊防止対策といった要望も多く寄せられており、新たな対策が必要な箇所も増加しているため、計画的な事業推進に努め、防災・減災対策の推進を図る。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
1	急傾斜地崩壊対策事業 大分県が実施する急傾斜地崩壊対策工事の負担金	県事業負担金 ・公共工事 9件 ・県単工事 9件	R4決算 51,600	必要性 A
			R5決算 43,750	効率性 A
			R6決算 49,650	有効性 A
			R7予算 61,300	
	事業開始年度	H18		
現状維持	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	大分県の急傾斜地崩壊対策工事に合わせて、引き続き必要な事業経費を負担し事業を推進する。		土木課長 高倉 実	
			土木建築部土木課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
2	市営急傾斜地崩壊対策事業 急傾斜地の崩壊による災害から住民の生命や財産を守るための対策工事を行うもの	令和6年度事業 ・測量設計業務 3件 日の本町⑤地区、貞清①地区、高井町地区 ・用地測量 1件 大山上野地区（令和5年繰越分） ・対策工事 4件 日の本町②地区、古湯地区、上袋地区、五馬市地区 令和7年度 繰越額 8,400,000円（用地測量 4件 日の本町②地区、古湯地区、上袋地区、五馬市地区）	R4決算 28,926	必要性 A
			R5決算 45,486	効率性 A
			R6決算 76,036	有効性 A
			R7予算 89,900	
	事業開始年度	H14		
現状維持	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	要望が多く、引き続き計画的に事業を推進する。		土木課長 高倉 実	
			土木建築部土木課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
3	災害防除事業 歩行者や車両の安全で円滑な通行を確保するため、市道の危険箇所について、未然に災害を防ぐための対策工事を行うもの	令和6年度事業 ・災害防除工事 2件 葉迫線、千丈小平線（1－2工区） ・測量設計業務 2件 千丈小平線（2工区）、都留程野線 R5繰越分 ・災害防除工事 1件 千丈小平線（1－1工区） ・測量設計業務 3件 中西線、千丈小平線（3工区）、鼠谷天ヶ瀬線 令和7年度 繰越額 249,381,700円	R4決算 124,283	必要性 A
			R5決算 14,614	効率性 A
			R6決算 153,426	有効性 A
			R7予算 528,902	
	事業開始年度	H18		
現状維持	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	道路交通の安全性確保のため、対策工事を進める。		土木課長 高倉 実	
			土木建築部土木課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
4	市道沿線支障物除去事業 通行の妨げとなっている枝等の除去を行い、安全で快適な道路環境の整備を行うもの	令和6年度事業 ・伐採等 1式	R4決算 5,999	必要性
			R5決算 5,852	効率性
			R6決算 5,895	有効性
			R7予算 6,000	
	事業開始年度	H20		
現状維持	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
			土木課長 高倉 実	
			土木建築部土木課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
5	宅地耐震化推進事業 大分県が抽出した大規模盛土造成地について、優先度評価（第二次スクリーニング計画）を行うもの 優先度評価（第二次スクリーニング計画）に基づき、安全性把握を行うもの	・大規模盛土造成地の第二次スクリーニング箇所の目視点検を実施し、変状がないことを確認した。	R4決算 1,485	必要性 A
			R5決算	効率性 A
			R6決算	有効性 A
			R7予算 27,120	
	事業開始年度	R4		
現状維持	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	熊本地震や平成29年九州北部豪雨・令和2年7月豪雨災害等の影響により、急傾斜地での転石や土砂等の崩壊防止対策といった要望も多く寄せられており、新たに対策が必要な箇所も増加していることから、計画的な事業推進に努め、防災、減災対策の推進を図る。		都市整備課長 大東良助	
			土木建築部都市整備課	

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
6	都市防災総合推進事業	・新天瀬橋景観照明設置工事：27,940千円	R4決算	必要性	A
	23,100				
	R5決算		効率性	A	
	8,100				
	R6決算		有効性	A	
	27,940				
	R7予算				
事業開始年度	R4				
事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
廃止・完了	令和7年度から天ヶ瀬温泉街復興まちづくり計画推進事業により事業を実施する。		都市整備課長 大東良助		
			土木建築部都市整備課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
7				必要性	
			効率性		
			有効性		
	事業開始年度				
事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
8				必要性	
			効率性		
			有効性		
	事業開始年度				
事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
9				必要性	
			効率性		
			有効性		
	事業開始年度				
事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
10				必要性	
			効率性		
			有効性		
	事業開始年度				
事業の方向性	今後の取組や改善事項		評価者・担当課		

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(6)	減災対策と災害復旧	農林商工部農業振興課
	主要施策	②	豪雨災害等の復旧	農林商工部長 中山 敏章

目指すべき姿	被災箇所の早期復旧
--------	-----------

主要施策に対する 主な取組	被災箇所の早急な復旧
------------------	------------

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	

目標達成度合いの測定結果

測定指標無し	-
--------	---

(判定理由)

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)

【令和6年度に実施した具体的施策・取組】

- ・R6年災は、査定終了後に15件すべての災害箇所について工事発注を行った。（R7年度へ繰越）
- ・R5.7大雨により被災した箇所については、R6年度内の完了を行った。

【測定指標の分析】又は【自己評価】

R6年災の国の補助事業による災害復旧工事についてはR7年度へ繰越となったが、R5.7大雨及びR6市単小災害復旧事業については完了することができた。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性

R6年災について、農地及び農業用施設の早期復旧に努める。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
1	農地及び農業用施設災害復旧事業 梅雨前線豪雨、R6.9月豪雨及び台風10号により被災した農地及び農業用施設の復旧事業であり、迅速な復旧を図る。(令和6年度被災箇所 農地 9件、施設6件)	・ 公用車リース料 使用料 522,720円 ・ 査定設計書作成業務 委託料 7,656,000円 ・ 耕地災害復旧工事 工事請負費 17,824,020円 (R6→R7へ繰越分 41,312,980円) 補助率 農地 97.5% 施設 99.7%	R4決算	必要性 B
			68,084	
			R5決算	効率性 A
			53,907	
			R6決算	有効性 A
			26,003	
	事業開始年度	H29	R7予算	62,085
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	現状維持	農地及び農業用施設の災害復旧のための補助事業であり、農業生産基盤の維持及び回復を図るため今後も継続する。	農業振興課長 五藤 和彦	
			農林商工部農業振興課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
2	農地及び農業用施設市単小災害復旧事業 豪雨等により被災した農地及び農業用施設において、国の災害復旧事業の対象とならない災害の早期復旧を図るため、事業主体に補助金を交付するもの。	【対象豪雨】 令和6年度 【災害対象】 事業費10万円以上40万円未満 【補助率】 農地 80% 施設 90% 【交付実績】 農地 22件 (5,870,000円) 施設 28件 (7,403,000円)	R4決算	必要性 B
			6,971	
			R5決算	効率性 A
			628	
			R6決算	有効性 A
			13,273	
	事業開始年度	—	R7予算	4,000
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	現状維持	国の災害の対象とならない災害の早期復旧を図るため、今後も災害発生時に補助を行う。	農業振興課長 五藤 和彦	
			農林商工部農業振興課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
3	農業施設等復旧支援事業 令和5年梅雨前線豪雨により被災した、梨棚の損壊及び農業用施設、農業用機械等の浸水、流失等、甚大な被害が発生したことから、営農再開や農業経営の継続を目的に早期復旧に対して支援するもの。	【繰越明許】 事業名：農業用施設等復旧支援事業 事業主体：被災した農業者等 事業内容：農業用施設の再建・修繕、農業用機械の再取得・修繕 事業費：7,162,398円 補助金額：4,776,000円 (県1/3：2,387,000円、市1/3：2,389,000円)	R4決算	必要性 B
			R5決算	効率性 A
			6,972	
			R6決算	有効性 A
			4,776	
	事業開始年度	R5	R7予算	7,439
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	現状維持	農業用機械や農業用倉庫等の農業用施設の災害復旧のための補助事業で、令和5年度繰越事業であるため今後も継続する。 令和7年度事故繰越額：7,439,000円	農業振興課 五藤 和彦	
			農林商工部農業振興課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
4	農地及び農業用施設災害復旧事業 (R5.7大雨分) R5.7月豪雨により被災した農地及び農業用施設の復旧事業であり、迅速な復旧を図る。(R5年度 被災箇所 農地 37件、施設25件)	【繰越明許】 ・ 耕地災害復旧工事 工事請負費 205,449,500円 補助率 農地 92.7% 施設 97.1%	R4決算	必要性 B
			R5決算	効率性 A
			134,409	
			R6決算	有効性 A
			205,450	
	事業開始年度	R5	R7予算	
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	廃止・完了	R5災害は激甚災害指定を受け被災規模が大きかったが、R6年度において事業完了。	農業振興課 五藤 和彦	
			農林商工部農業振興課	
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価
5	農地及び農業用施設市単小災害復旧事業 (R5.7大雨分) R5.7月豪雨により被災した農地及び農業用施設において、国の災害復旧事業の対象とならない災害の早期復旧を図るため、事業主体に補助金を交付するもの。	【対象豪雨】 令和5年7月豪雨 【災害対象】 事業費10万円以上200万円未満 【補助率】 農地 70% 農地 85% 【交付実績】 農地 29件(14,900,000円) 施設 47件(31,749,000円)	R4決算	必要性 B
			R5決算	効率性 A
			74,998	
			R6決算	有効性 A
			46,649	
	事業開始年度	R5	R7予算	
	事業の方向性	今後の取組や改善事項	評価者・担当課	
	廃止・完了	R5災害は激甚災害指定を受け被災規模が大きかったが、R6年度において事業完了。	農業振興課 五藤 和彦	
			農林商工部農業振興課	

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(6)	減災対策と災害復旧	農林商工部林業振興課、総務企画部総務課
	主要施策	②	豪雨災害等の復旧	農林振興部長 中山敬章、総務企画部長 宮崎和昭

目指すべき姿	被災箇所の早期復旧
--------	-----------

主要施策に対する 主な取組	
------------------	--

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	

目標達成度合いの測定結果

測定指標無し	－
--------	---

(判定理由)
災害復旧事業のため、指標等の数値算出困難である。

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)

【令和6年度に実施した具体的施策・取組】
令和5年災害で19路線で37箇所、令和6年災害で2路線で2箇所を災害復旧事業として実施している。
そのうち令和5年災害の令和6年度分は20箇所完了し、14箇所の発注を行い早期完了を目指している。
また、令和6年災害の令和6年度分は完了は0件であるが、2箇所すべての発注を行い、早期完了を目指している。
その他の59箇所小規模災害については、適宜、発注を行い完了をしている。

【測定指標の分析】又は【自己評価】
令和5年7月の大雨災害により林道災害が発生し、森林整備等に支障をきたしていることから、早期復旧に取り組む。
また、令和6年の大雨災害でも林道災害が発生していることから、早期復旧に取り組む。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性

林道については、日田市の林業の活性化を図るため必要な施設である。
大雨災害による林道施設の被災箇所については、国の補助制度を活用しながら、早期完了を目指して取り組みを進める。
地すべりの兆候が確認された林道味野線については、今後も必要な調査・観測を実施しながら、必要な対策工事と併せて林道復旧に取り組んでいく。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
1	林地及び林業用施設災害復旧事業 被災林地及び林業用施設の早期復旧を図るもの	・委託費 災害復旧委託費 9,786,700円 ・工事請負費 災害復旧工事費 31,492,500円 ・補助金 市単小災害補助金 1,087,000円 【繰越明許費(R6→R7) 13,900千円】	R4決算	必要性	A
			14,984		
			R5決算	効率性	A
			8,220		
			R6決算	有効性	A
			42,367		
	事業開始年度	R6	R7予算		
事業の方向性		今後の取組や改善事項	32,500		
現状維持		集中豪雨により発生する林地及び林業施設の被災箇所について、早期着手、早期復旧に取り組んでいく。	評価者・担当課		
			林業振興課長 穴井重信		
			農林商工部林業振興課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
2	林地及び林業用施設災害復旧事業（R5.7大雨分） 令和5年7月大雨により被災した林地及び林業用施設の災害復旧を行う	【令和5年度 令和5年災決算】（R5繰越分） ・旅費 202,120円 ・災害工事費 391,959,000円 【事故繰越 災害工事費 320,851千円】 【令和6年度 令和5年災決算】 ・需要費 消耗品費 498,771円 ・需要費 燃料費 65,355円 ・査定設計書委託料 20,982,500円 ・使用費 415,800円 ・災害工事費 291,346,700円 ・市単小災害補助金 15,617,000円 【繰越明許費(R6→R7) 災害工事費 164,492千円】	R4決算	必要性	A
			R5決算	効率性	A
			269,797		
			R6決算	有効性	A
			721,088		
	事業開始年度	R5	R7予算		
事業の方向性		今後の取組や改善事項	541,245		
現状維持		集中豪雨により発生する林地及び林業施設の被災箇所について、早期着手、早期復旧に取り組んでいく。	評価者・担当課		
			林業振興課長 穴井重信		
			農林商工部林業振興課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
3	林地及び林業用施設災害復旧事業（林道味野線） 令和5年7月大雨により被災した林道味野線において、地すべりの兆候が確認されたことから地滑りの調査・観測を行う	・地すべり調査測量設計委託 25,286千円(R5繰越分)	R4決算	必要性	A
			R5決算	効率性	A
			10,816		
			R6決算	有効性	A
			25,286		
	事業開始年度	R5	R7予算		
事業の方向性		今後の取組や改善事項	33,034		
現状維持		地すべり調査観測データより対策工事の設計を進め、林野庁との協議を行いながら工事を実施していく。工事工法については様々な案の中から現地に適した工法を選定すると共に国の補助事業を活用しながら実施していく。	評価者・担当課		
			林業振興課長 穴井重信		
			農林商工部林業振興課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
4	災害派遣職員受入事業 令和5年7月梅雨前線豪雨による災害に係る本市の復旧・復興事業等に従事する派遣職員を受け入れるもの。	受入先：林業振興課基盤整備係 受入職員：土木技術職員1名 派遣元：大分県 受入期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日 職員手当等 1,255,110円 使用料及び賃借料 809,700円 負担金 5,719,680円	R4決算	必要性	A
			R5決算	効率性	A
			R6決算	有効性	A
			7,785		
	事業開始年度	R6	R7予算		
事業の方向性		今後の取組や改善事項			
廃止・完了		今後も、災害の規模に応じて、派遣職員の受け入れについて検討する。	評価者・担当課		
			総務課長 松井顕一		
			総務企画部総務課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
5				必要性	
				効率性	
				有効性	
	事業開始年度				
事業の方向性		今後の取組や改善事項			

令和6年度 行政評価調査

総合 計画 体系	大綱名	4	安全で快適に暮らす	担当部課・評価責任者
	施策名	(6)	減災対策と災害復旧	土木建築部土木課、土木建築部都市整備課
	主要施策	②	豪雨災害等の復旧	土木建築部長 大友得央

目指すべき姿	災害危険箇所の解消に向けた防災、減災対策の推進と住民の安全を確保するための民家裏等の整備 防災・減災対策の推進を図る
--------	---

主要施策に対する 主な取組	国、県等の早急な復旧の促進 被災箇所の早急な復旧 防災体制の強化 災害により被災した公共施設等の早急な復旧
------------------	--

測定指標	指標 の出典	R6の 目標値	基準 年度	基準値	実績値				達成
					R6	R7	R8	R9	

目標達成度合いの測定結果

測定指標無し	-
--------	---

(判定理由)

主要施策の分析(達成・未達成に関する要因分析又は自己評価)

【令和6年度に実施した具体的施策・取組】

- ・ R2.7豪雨分
工事請負費（補助）災害査定100件のうちR6完了1件
- ・ R5.7豪雨分
工事請負費（補助）災害査定54件のうちR6完了46件
- ・ R6.7豪雨分
工事請負費（補助）災害査定12件のうちR6完了1件

【測定指標の分析】又は【自己評価】

市民の安全・安心の暮らしを回復するため、被災からの早期復旧に努めた。

主要施策の目指すべき姿を実現するための今後の方向性

次期災害に備え、現在実施している災害復旧事業の早期完了に努める。

■この施策を実現するための事業構成

No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
1	公共土木施設災害復旧事業(R2.7豪雨分) 令和2年の豪雨により、被害を受けた被災箇所の早期復旧を目指す。(被災から概ね3年以内)	・R2.7豪雨分 工事請負費(補助) 災害査定100件のうちR6完了1件	R4決算	必要性	A
			364,210		
			R5決算	効率性	A
			306,596		
			R6決算	有効性	A
			211,476		
	事業開始年度	R2	R7予算		
事業の方向性		今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
廃止・完了		災害査定を受けた工事が全て完了した。	土木課長 高倉 実		
			土木建築部土木課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
2	公共土木施設災害復旧事業(R5.7月) 令和5年の豪雨により、被害を受けた被災箇所の早期復旧を目指す。(被災から概ね3年以内)	・R5.7豪雨分 工事請負費(補助) 災害査定54件のうちR6完了46件 令和7年度 繰越額 149,084,000円	R4決算	必要性	A
			R5決算	効率性	A
			777,804		
			R6決算	有効性	A
			698,916		
	事業開始年度	R5	R7予算		
事業の方向性		今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
現状維持		市民の安全・安心の暮らしを回復するため、早期復旧に努める。	土木課 高倉 実		
			土木建築部土木課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
3	公共土木施設災害復旧事業 本事業は梅雨前線豪雨や台風等にて被害を受けた道路や河川の被災箇所を、早期に復旧することにより住民の安全と利便性の確保を図るもの。	・R6.7豪雨分 工事請負費(補助) 災害査定12件のうちR6完了1件 現場技術業務 1式 令和7年度 繰越額 283,452,500円	R4決算	必要性	A
			235,383		
			R5決算	効率性	A
			22,248		
			R6決算	有効性	A
			162,348		
	事業開始年度	—	R7予算		
事業の方向性		今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
現状維持		市民の安全・安心の暮らしを回復するため、早期復旧に努める。	土木課 高倉 実		
			土木建築部土木課		
No.	事業名・事業内容	令和6年度活動実績	決算・予算	評価	
4	公園施設災害復旧事業 本事業は梅雨前線豪雨や台風等にて被害を受けた公園の被災箇所を、早期に復旧することにより住民の安全と利便性の確保を図るもの。	令和6年度事業 ・災害復旧工事 13件 大原公園 ほか	R4決算	必要性	A
			R5決算	効率性	A
			42,479		
			R6決算	有効性	A
			42,141		
	事業開始年度	R5	R7予算		
事業の方向性		今後の取組や改善事項	評価者・担当課		
現状維持		市民の安全・安心の暮らしを回復するため、早期復旧に努める。	都市整備課 大東良助		
			土木建築部都市整備課		
No.	事業名・事業内容	活動実績	決算・予算	評価	
5				必要性	
				効率性	
				有効性	
	事業開始年度				
事業の方向性		今後の取組や改善事項	評価者・担当課		